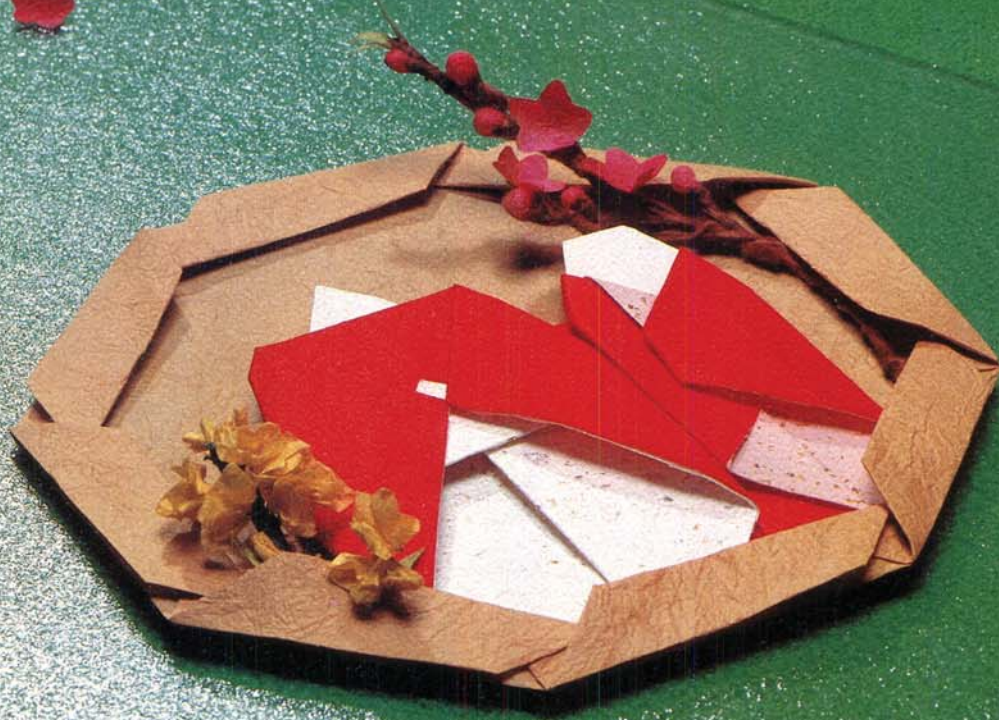


おりがみ 3

月号

ORIGAMI
March 1982



特集

おひなさま

小特集

まるのおりがみ

付録：おひなさま用
“まるのおりがみ”セット

豊かな情操と創造力を育む、世界文化社の月刊保育絵本。

株式会社世界文化社
〒03(262)5111
東京都千代田区九段北4-2-29

ドレミファブック
団体購読定価 1600円

せがいの名作えほん
団体購読定価 400円

しぜんのせがい
団体購読定価 700円

おはなしらんど
団体購読定価 220円



ががくらんど
団体購読定価 200円

ジュニアランド
団体購読定価 200円

ワンダーランド
団体購読定価 250円

ワンダーブック
団体購読定価 200円

外国への“おみやげ”に最適
初級講師の資格も取得できる

折り紙のテキスト

◆ このテキストの特徴 ◆

日本・スペイン・フランス・イギリスの4ヵ国語解説付です。
折り紙をはじめたい内外の人々に最適の入門書です。
外国へのおみやげとしても大変喜ばれます。
折り紙教室の教材として活用できます。
初級講師の資格が取得できます。



※お申し込みは、誌代に送料を添えて下記へ……

〒102 東京都千代田区五番町12 ドミール五番町 1-096 日本折紙協会事務局

(なお、送金方法は本誌巻末に同じ込みの郵便振替用紙をご利用ください。)

国内価格 980円
送料 200円

日本折紙協会は、下記の会社・団体・個人の皆様からご協力をいただいています。
(敬称略・50音順)

- | | | | |
|---------------|------------|---------------|-----------|
| 池田長禧 | (株)小松原梱包 | 土浦聖母幼稚園 | 北越製紙(株) |
| 石川紙業(株) | サクラクレパス(株) | 天理教少年会本部 | 真下政子 |
| 井上紙業(株) | サントリー(株) | (株)東京印書館 | 松本印刷(株) |
| (株)イムラ封筒 | (株)サンリオ | 東京都紙製玩具工業協同組合 | 丸井紙製玩具製造所 |
| 岩下治郎 | 四国紙業(株) | 東洋紙工(株) | 御国色素(株) |
| (有)エイト | (株)若越 | 中村紙工(株) | (株)深山 |
| 大阪帝塚山ライオンズクラブ | (株)世界文化社 | (株)ニッポー | 武蔵野冷蔵(株) |
| (有)押上紙器製作所 | 関根正太郎 | (財)日本テレビ文化事業団 | (株)ゆしまの小林 |
| 木邨紙業(株) | ダイニック(株) | 林商会 | 吉森ホイル(株) |
| (株)クラサワ | 大与紙工(株) | 福田恵日 | (株)若木書房 |
| (株)グリム | (株)竹尾 | (株)平凡社 | (株)渡辺染紙工所 |

今年のひなまつりは、ノアちゃんの作ったおひなさまをかざってお祝いします。招待するお友達に出したカードにも、かわいいおひなさまをつけました。ひなあられや白酒の用意もできたし、あとは、お友達が来るのを待つだけ……。

今月は、めずらしい、丸い折り紙の特集もあります。どんなものが作れるのかしら？ 楽しみですね。



もくじ

特集 おひなさま

おひなさま	半田丈直	4
たちびな	高浜利恵	5
ながしびな	田中具子	8
続・折紙春秋	竹川青良	11

連載 第20回

おりがみ研究室	田中陽子	12
---------	------	----

海外の折り紙

"第4回世界折紙展"出品作品より		
マウンテン チーズ	
.....ピットリオ・マリア・ブランドーニ		14
	(イタリア)	

おりがみ広場	16
--------	-------	----

おりがみ頭の体操"おりがみ迷路"	17
------------------	-------	----

おりがみガーデン

作品介绍(写真)	18
こねこちゃん(指人形)石橋美奈子	19
春駒田中具子	20

小特集 まるのおりがみ(前編)

まるのおりがみ(円形折紙)の原理と発生 の原点 および、その利用価値福田恵日	22
---------------------------------------	-----------	----

チャレンジ コーナー

だいらびな福田恵日	28
-------	-----------	----

おりがみギャラリー No.24

どうぶつ村の"ひなまつり"	福田恵日	30
おしらせ	32

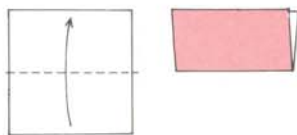
付録・まるのおりがみセット

折り紙セット提供：東洋紙工株式会社

折り方の記号

SYMBOLS

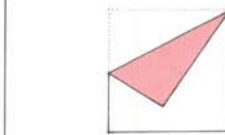
次の記号によって折り方が示されていますので皆さんもおぼえてください。



谷折り線
VALLEY FOLD



まくまたは同じ方向にくり返し折る
FOLD OVER AND OVER

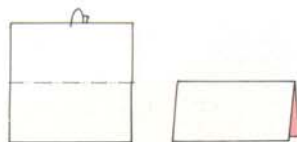


仮想線(元の形または次の形などを示す)
PREVIOUS POSITION

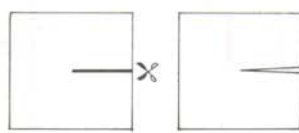


表に折る
FOLD IN FRONT

裏へ折る
FOLD BEHIND



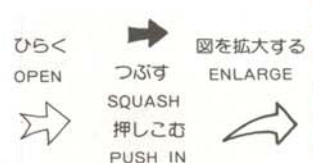
山折り線
MOUNTAIN FOLD



切りこみ線または切り線
CUT



段折り
FOLD AND FOLD

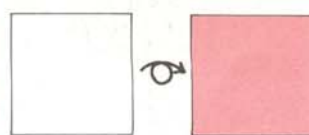


ひらく
OPEN

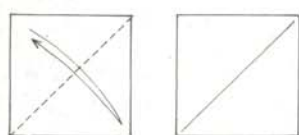
図を拡大する
ENLARGE

つぶす
SQUASH

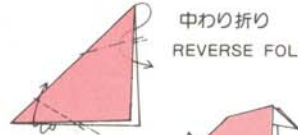
押しこむ
PUSH IN



裏がえす
TURN MODEL OVER

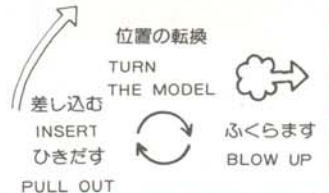


折り筋線
FOLD AND UNFOLD TO CREASE



中わり折り
REVERSE FOLD

かぶせ折り
REVERSE FOLD

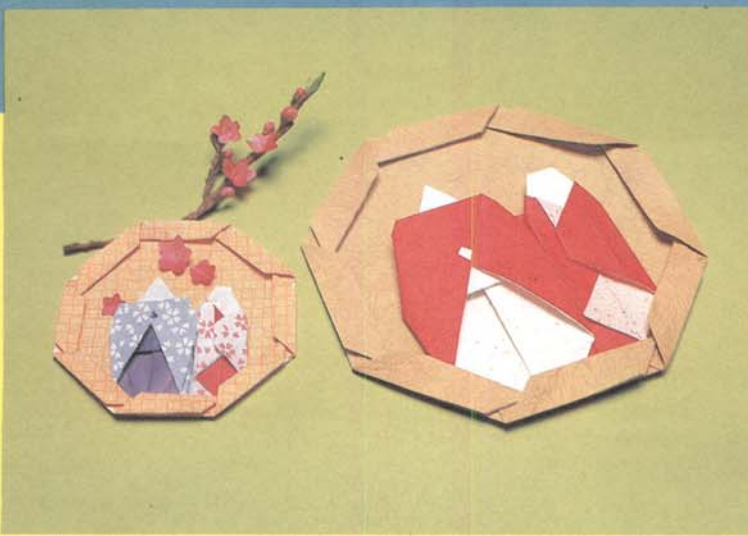


位置の転換
TURN THE MODEL

差し込む
INSERT

ひきだす
PULL OUT

ふくらます
BLOW UP





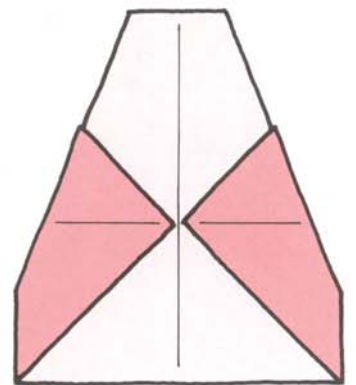
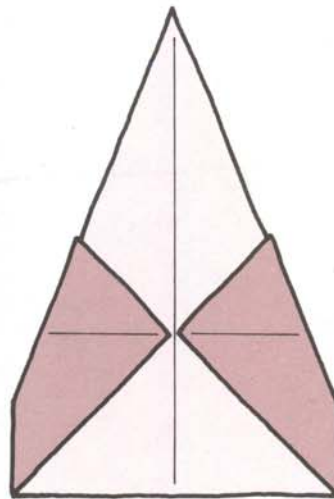
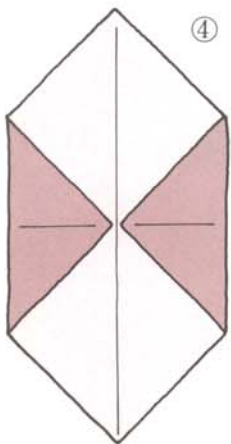
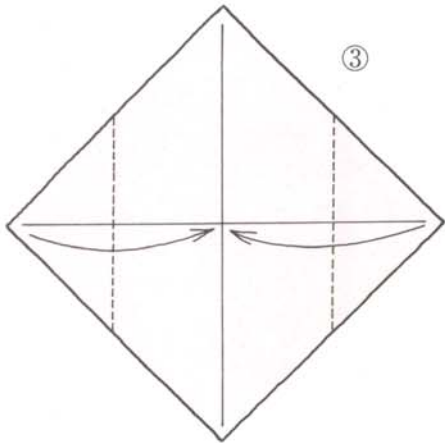
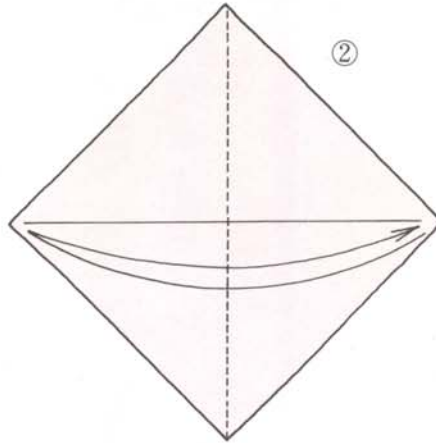
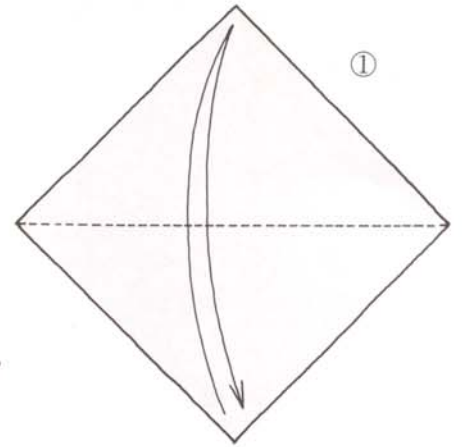
特集 おひなさま

おひなさま

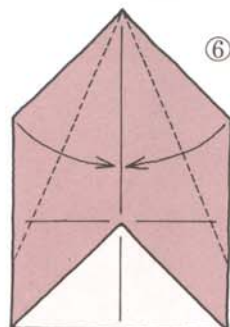
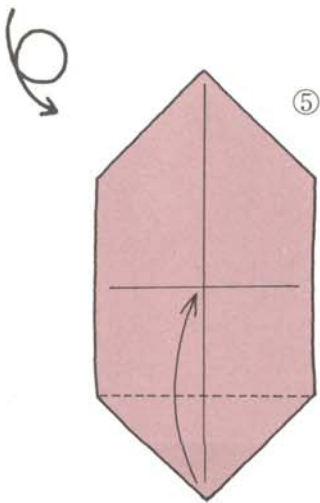
半田丈直

Ohinasama

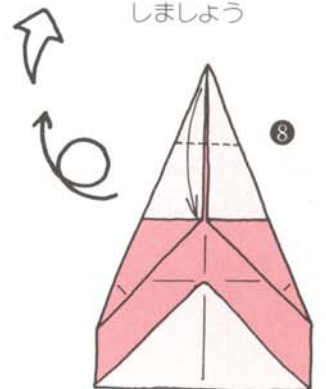
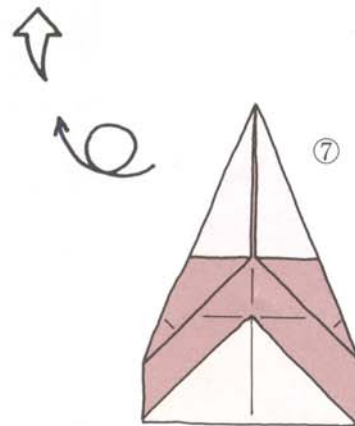
by Takenao Handa



かおをかいり、
おおぎをもたせたり
しましょう



かおをかいり
おおぎをもたせたり
しましょう

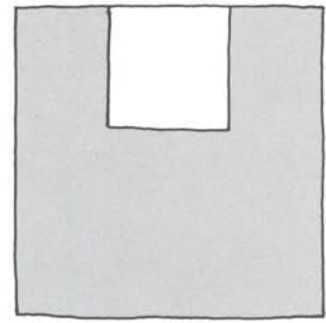


たちびな

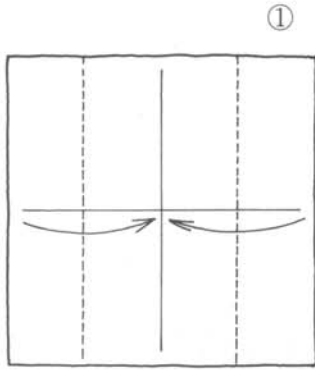
紹介：高浜利恵

Tachibina

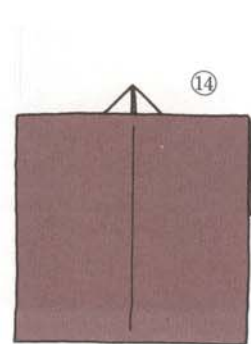
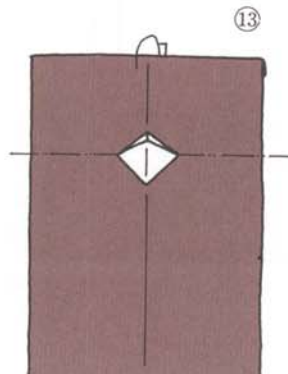
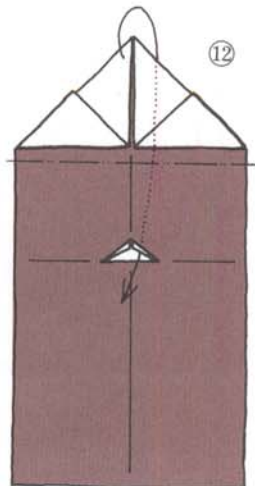
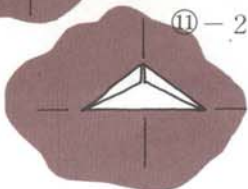
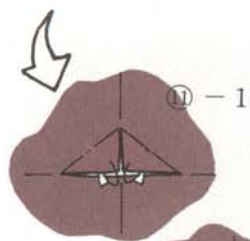
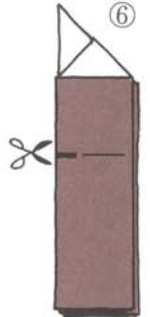
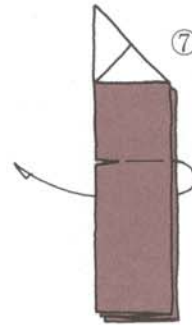
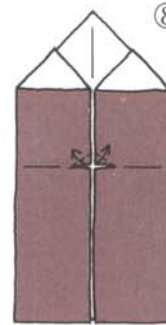
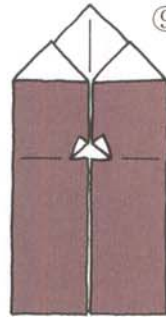
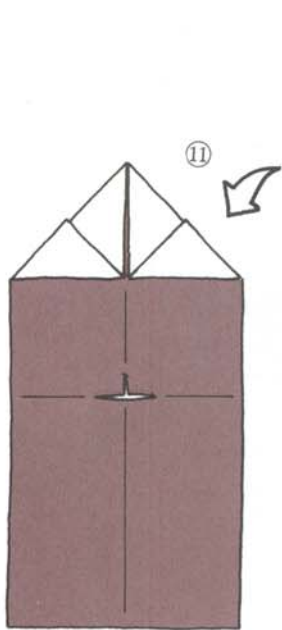
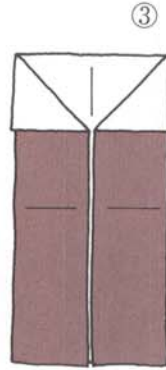
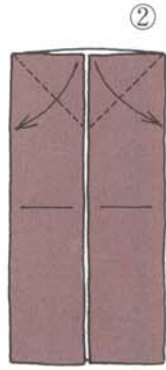
Reformed by Toshie Takahama



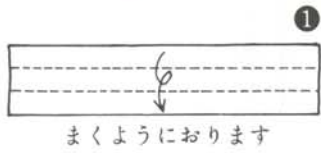
和紙であるときは、
カオのふびんに白い
紙をはります



おりすじをつけてから
はじめます



おび Belt



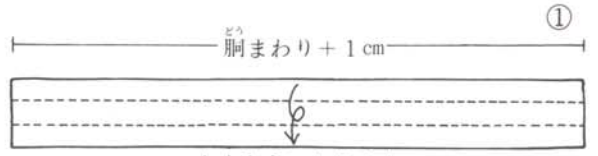
まくようにおります



むすびます

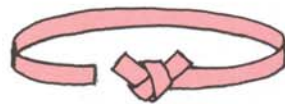


のりつけします

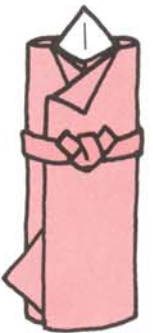
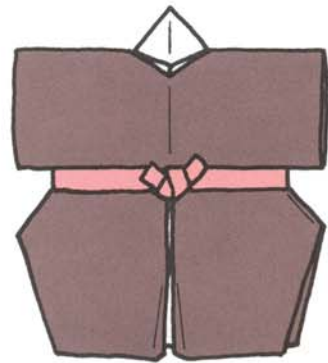
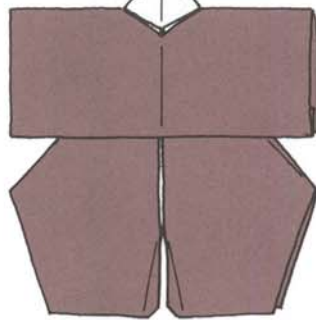
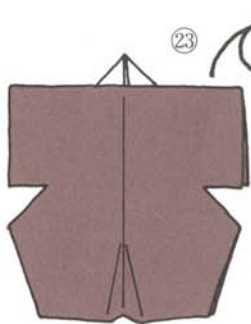


まくようにおります

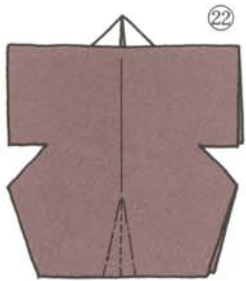
②



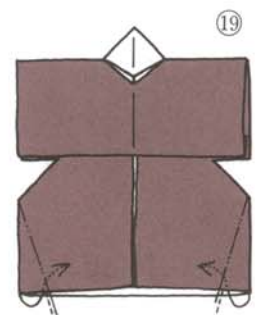
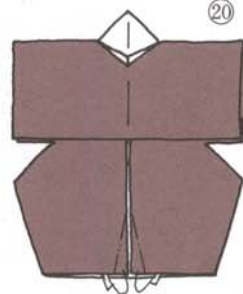
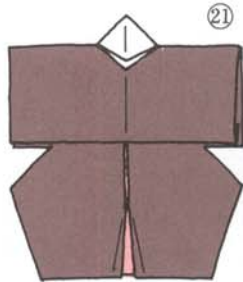
どろ 胸にまいて
のりつけします



立たせるときは、からだに丸みをつけて、立体的にしましょう

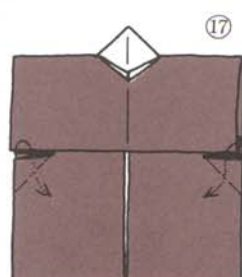
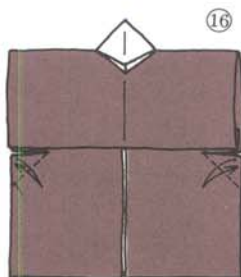
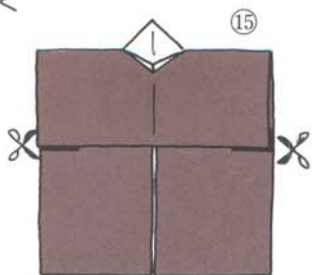


おりすじをつけます



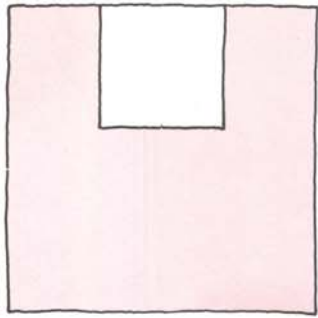
なかわりおり

5ページより
つづく

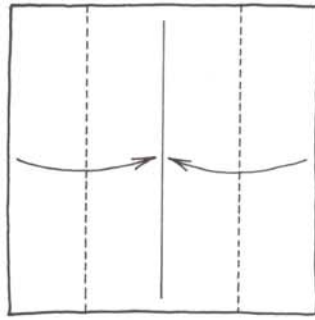


なかわりおり

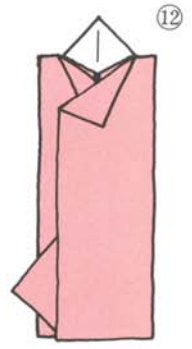
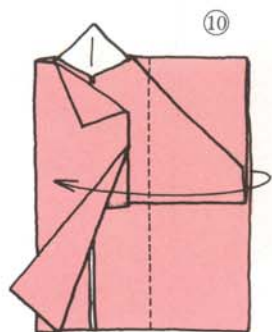
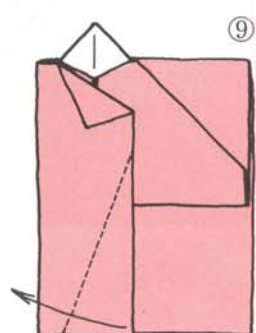
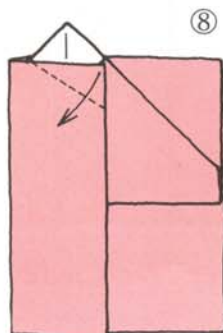
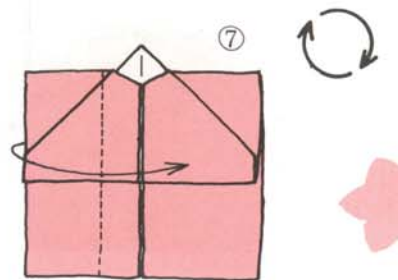
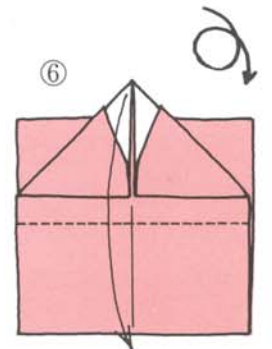
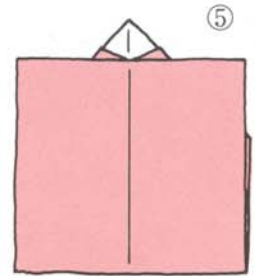
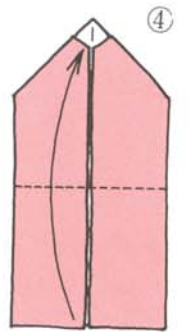
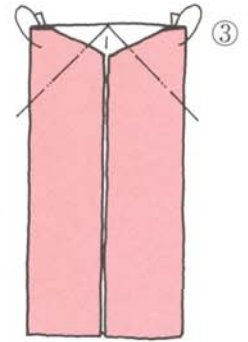
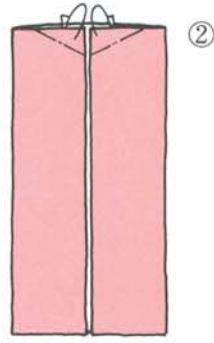
めびな Mebina



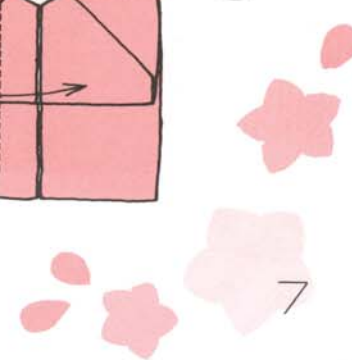
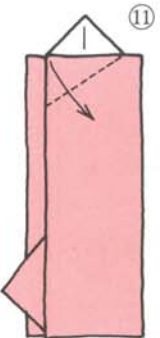
和紙であるときは、
かおのふぶんに白い
紙をはります



おりすじをつけてから
はじめます



おびなおなじょうに
おびをつけます



ながしびな

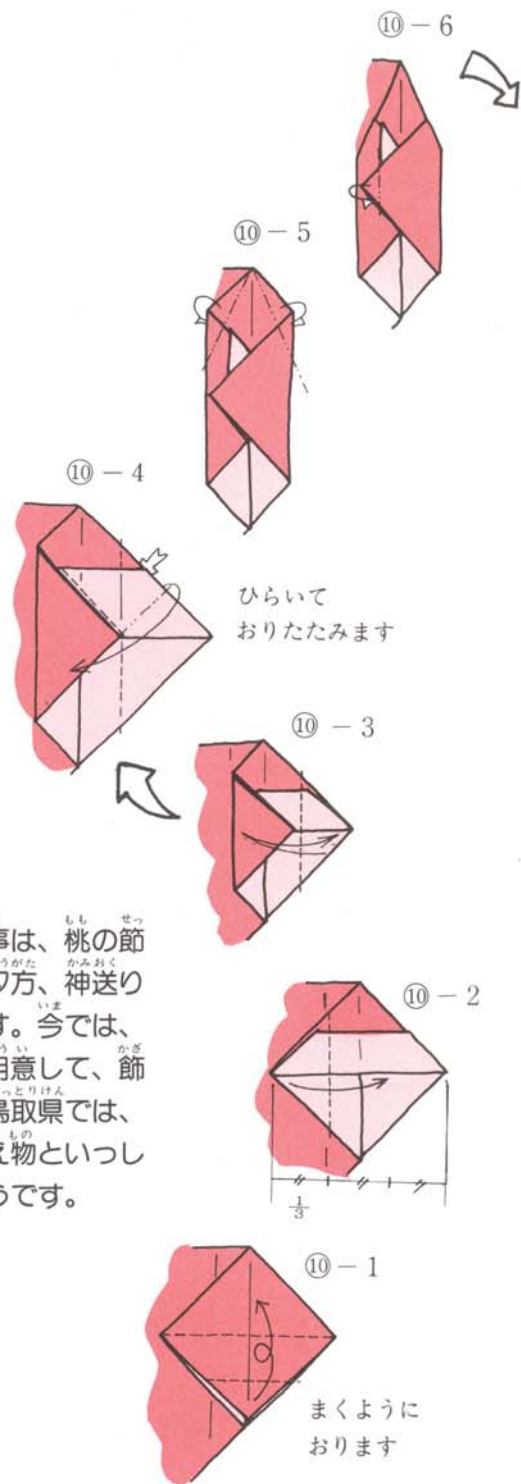
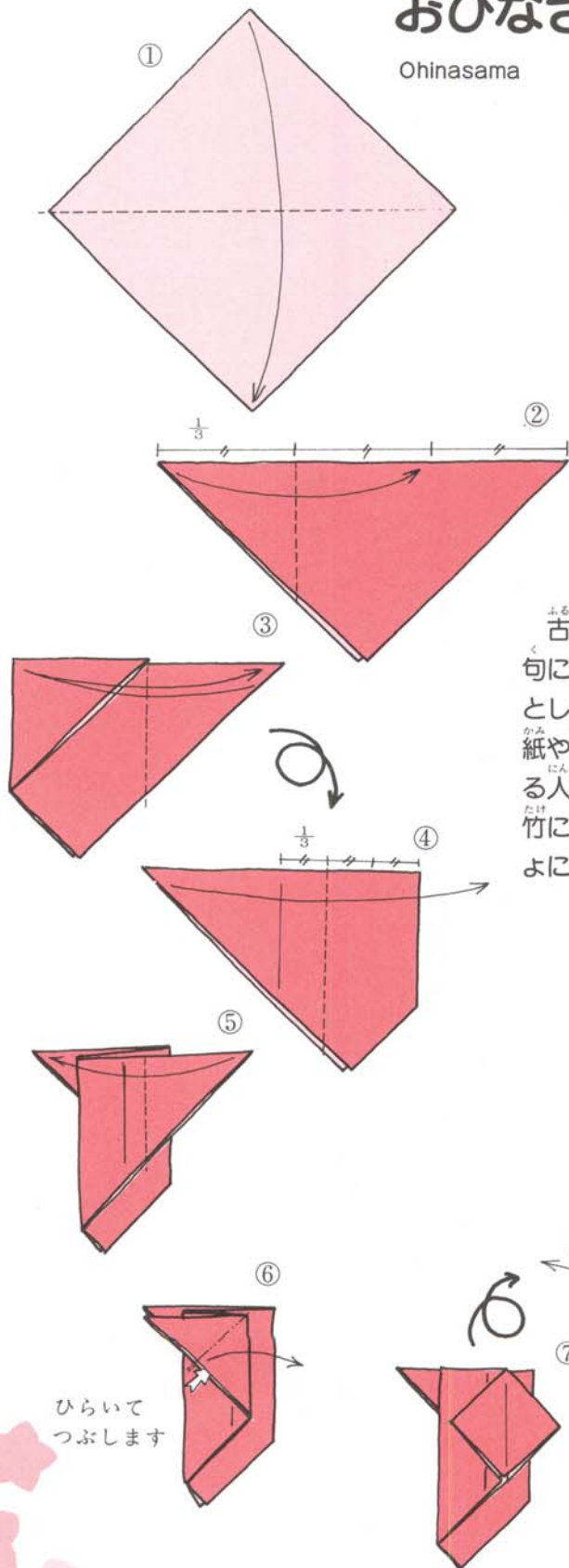
田中具子

Nagashibina

by Tomoko Tanaka

おひなさま

Ohinasama



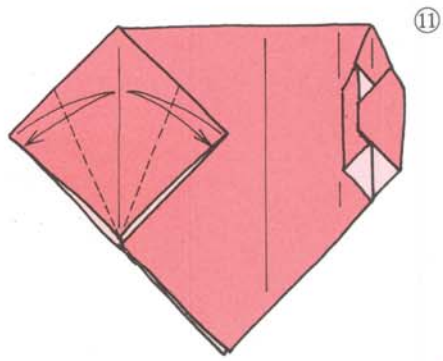
古くから伝わる“流し雛”の行事は、桃の節句に飾った雛人形を3月3日の夕方、神送りとして、川や海に流したものです。今では、紙や土焼きの素朴なものを別に用意して、飾る人形とは別に流しています。鳥取県では、竹に赤い色紙をはった人形を供え物といっしょに棧俵にのせて流しているようです。

ひらいて
おりたたみます

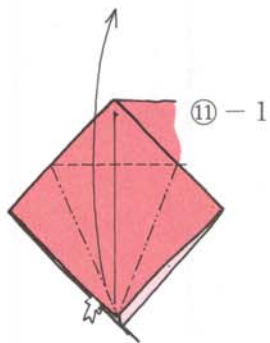
まくように
おります

ひらいて
つぶします

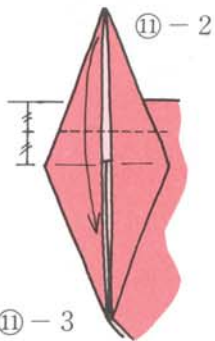
ひらいて
つぶします



⑪



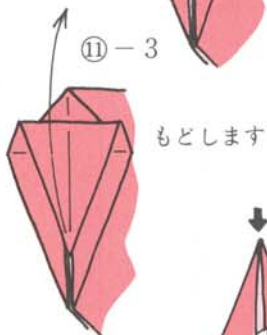
⑪-1



⑪-2

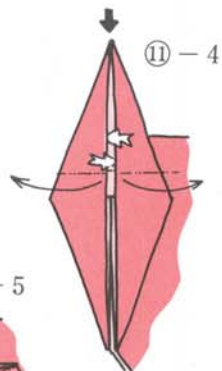


ひらいて
おりたたみます



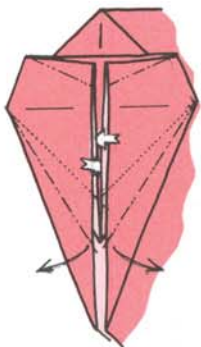
⑪-3

もどします



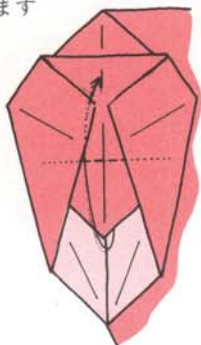
⑪-4

⑪-5

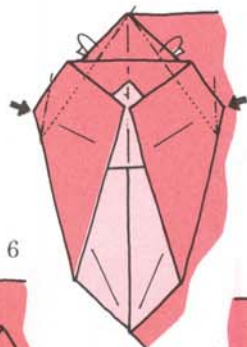


ずらすようにしながら
ひらいてつぶします

⑪-6



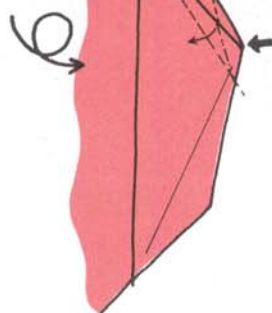
⑪-7



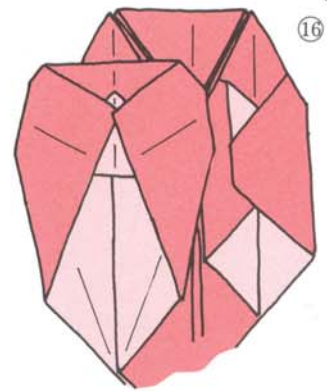
かどをうしろに
おりまげながら
つぶします

うら

⑪-A

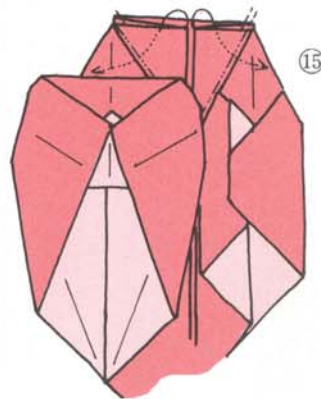


10ページへつづく

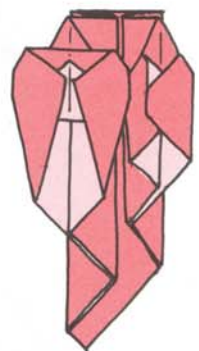


⑪⑩

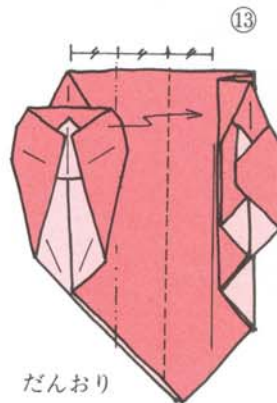
なかわりおり なかわりおり



⑪⑨

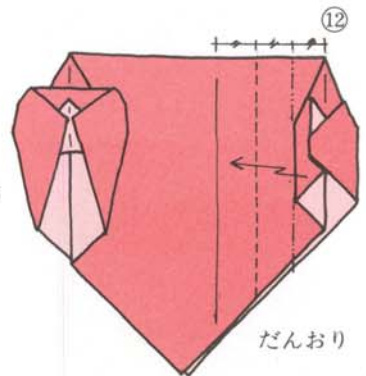


⑪⑧



⑪⑦

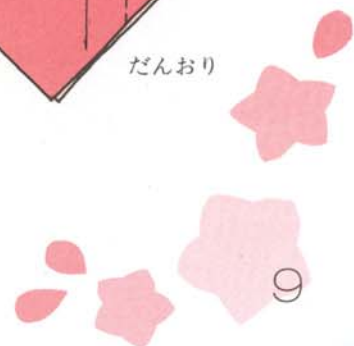
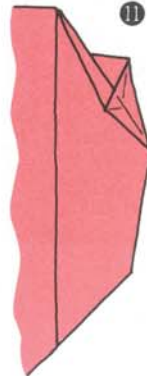
だんおり



⑪⑥

だんおり

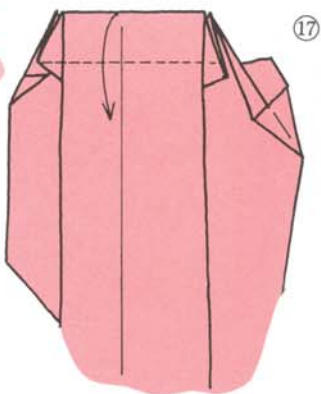
⑪-B



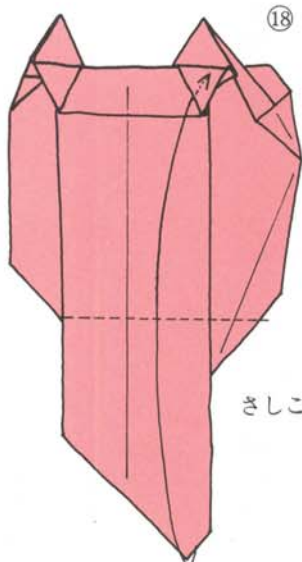
さんだわら

Basket

9ページよりつづく

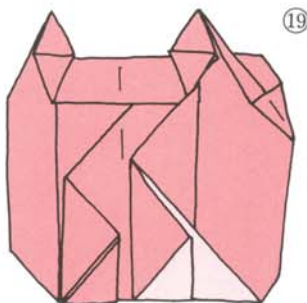


17

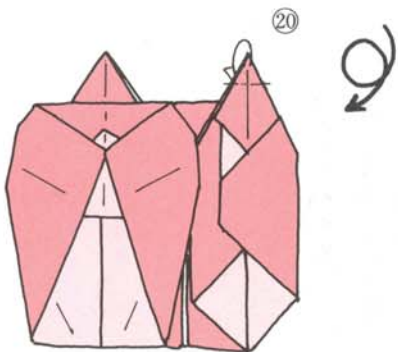


18

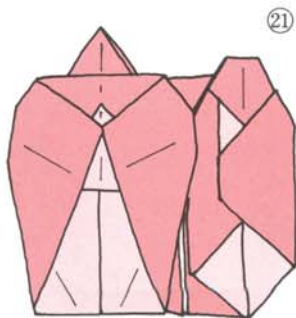
さしこみます



19

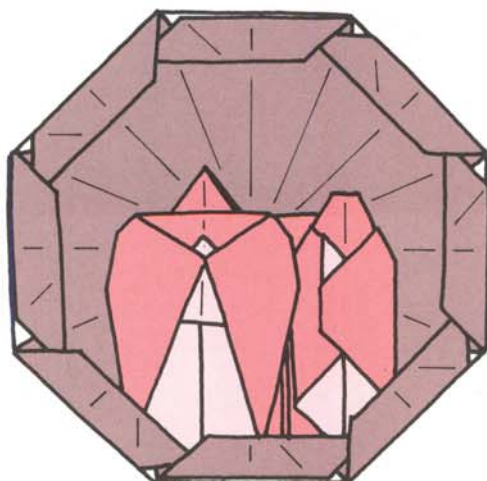


20

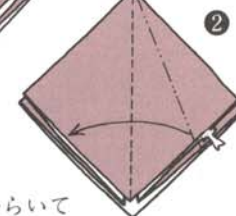
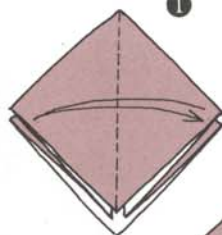


21

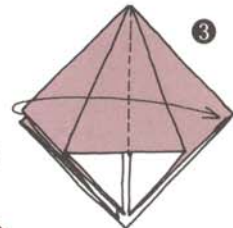
さんだわらにおひなさまを
いれて、のりづけしましょう。



1 せいほう
きほんかたちより

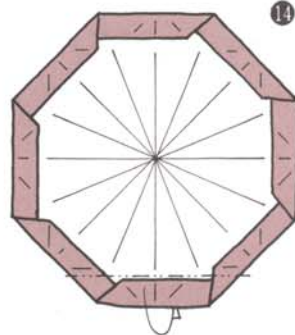


ひらいて
つぶします

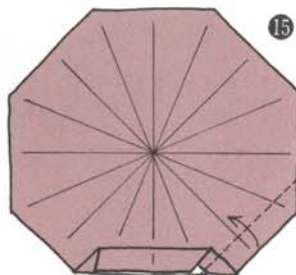


3

のこりの3かしょも
おなじ



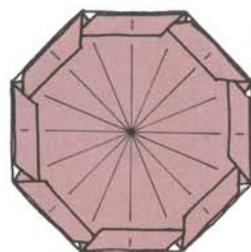
14



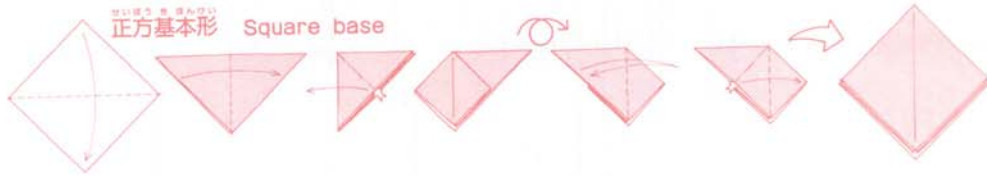
15

残りの7か所も同じ

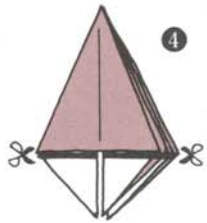
(さいごの1か所は、はじめに
おいた1か所をすこしもどしな
がらあります。)



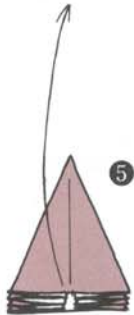
16



正方形基本形 Square base

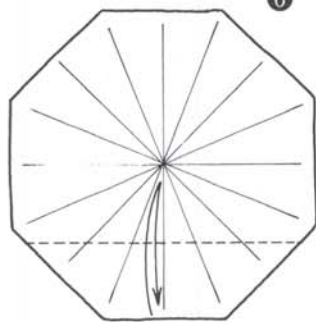


4



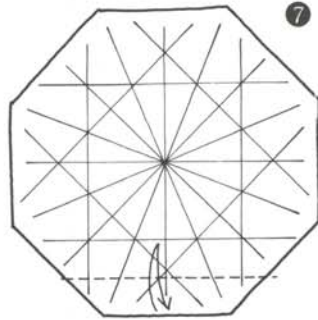
5

ひらきます

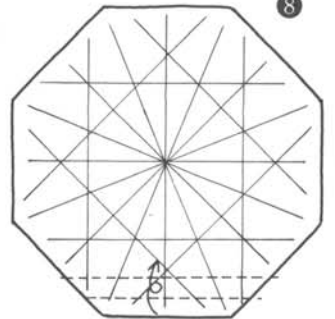


6

正八角形ができます
残りの7か所も同じ

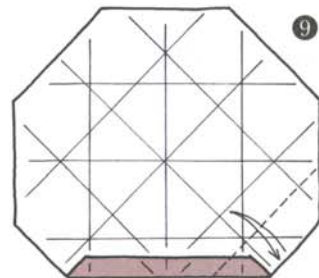


7



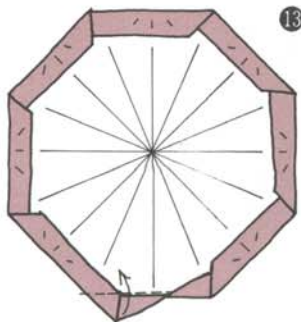
8

まくようにおります

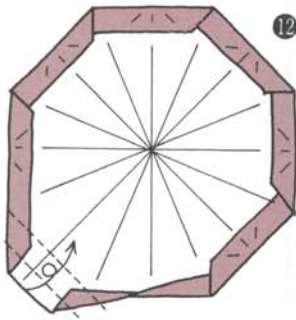


9

残りの
7か所も同じ

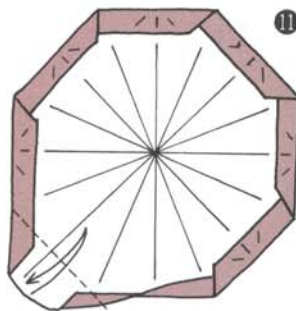


10

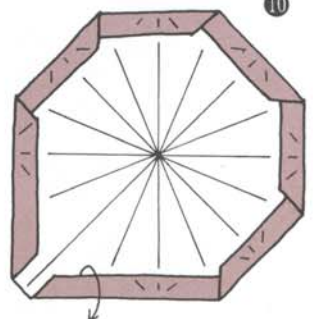


11

まくようにおります



12



13

さいごの1かしの
おりかた

続 折紙春秋

竹川青良

—第3回—
「折り紙仲間」

少し田舎だが、昨年(昭和56年)の9月25日朝、読売テレビ(関東は日本テレビ)の「ズームイン!朝」という番組に出演した。タイトルは、「折り紙日本一、動く折り紙50年」というもので、80点ほどの作

品を展示し、数点の「動く折り紙」を実演してみせて番組のアシスタントと会話するだけで、時間が短いため作品コーナーは出来なかった。

放送の数日後、テレビ局から電話があり「あの放送直後、全国から電話での照会や葉書質問が5000もありました。」とか、局としても喜んでいるとの事だったが、北海道から鹿児島までの全国生放送の威力とは言え、今更ながらテレビの力の大きさに感じいった次第である。

この「ズームイン!朝」という番組では、

昨夏に「第4回世界折紙展」が紹介放送されたこともあるが、その時の反響も大層なものだったと聞いている。ともあれ、全国の折り紙ファン達、早朝7時半頃の出勤間際にもかかわらずテレビを見てもらっていたらしく、「多忙な時間なのにこの反響とは。」と、まだまだ心強い仲間が全国にあることをしみじみ感じ入るとともに、本当に嬉しいことだった。きっと、本誌の会員・購読者の数も累増することを私は確信する。

先生やお母さまと共に考える幼児のための折り紙指導

第8回

幼児の活動は総合的なもので、「生活」や「遊び」、「行事」といった総合保育の中においての子ども達の心身は、休まず日進月歩の成長を続けています。

幼稚園教育の目的・目標を実現させるために、幼稚園教育要領では「健康」・「社会」・「自然」・「言語」・「音楽リズム」および「絵画製作」の6領域に分類して、就学前の幼児に達成させる、望ましい生活体験の具体的なねらいを示しています。

幼児の教育にあたる先生やお母さまの役割は、子ども達が均衡のとれた調和のなかで成長していけるような暖かい雰囲気や環境をつくることだと思います。また、幼児期には四季の自然と行事とのかかわりを大切に、日常の保育の場や家庭生活の中で「四季の変化と日本の伝統的行事」を正しい形で取りあげることも必要なことだと思います。

子ども達は、一日、一週間、一年を繰り返しながら、四季の自然や行事に参加してどのような時を過ごしていくかということを知るようになります。「保育の現場では行事が多い。」という声もありますが、幼児期に子どもの実態と地域の実情を考慮しながら「季節との関連」を工

夫した《年間カリキュラム》の中に行事を取り入れ、総合的な活動の中で子ども達の心身の成長を助長できるような適切な指導をすすめたいと思います。

3月には、「ひなまつり」、「おたんじょう会」、「おわかれ会」、「卒園式」などの行事があります。今回の実践例は、貢川進徳幼稚園(甲府市)で5歳児を担当されている守屋良子先生のご協力をえて、3月3日の「ひなまつり」にあたり、「他領域との関連」をはかりながら、子どもたちが「ひなまつり」の行事に喜んで参加するような総合的指導の中での「作品づくり」をご紹介します。

「ひなまつり」を題材にしたいろいろな折り紙作品の中で、伝統的なものや創作的なものなどさまざまな「おひなさま」が折られるものと思います。このクラスの幼児も、伝統作品の「めびな」と「おひな」を折っていましたが、折っていく過程での言葉がけなどの工夫の結果、折り紙に対する意欲が担任の先生の予想以上に積極的なものになったということです。

子どもの年齢・地域の実情を考慮して、先生やお母さまも実践なさってみてはいかがでしょうか。

実践例：甲府市・貢川進徳幼稚園

◆テーマ……『うれしい ひなまつり』

◆保育活動の活動内容

- 「ひなまつり」をみんなて祝う。
- おひなさま(雛人形)を見たり、みんなてひな段を飾ったりする。
- 「ひなまつり」の歌をうたったり、リズム表現をしたりする。
- おひなさまをつくったり、絵にかいたりしてあそぶ。

活動の流れ

- 「うれしいひなまつり」の歌をうたう。
- 見たことのある「おひなさま」について、知っていることを話し合う。

ねらい

- 色紙(折り紙)で「おひなさま」を折り、飾ってあそぶ。
- 自分たちでつくることの喜びを味わう。(例:だいらさま(おひなめびな)、三人官女、五人ばやし、など)
- おひなさまの特徴を見つける。(例:着物を着ている、髪の色、顔の表情、すわり方、立ち方、手の位置、など)
- 折り紙で「おひなさま」を製作する。

まとめ・反省

- ひなまつり、「おひなさま」は、美しい「雛人形」を見たり「おゆうぎ会」をしたりしたので、興味深くできた。
- 製作帳(毎月、その月に合ったものを考えて、折り紙、切り紙などの作品づくりをまとめている。)に飾って楽しんだ。
- 手づくりの「段飾り」をつくり、部屋の装飾としても良いと思う。
- きれいな千代紙等で折ったり、着物にはサインペン等で模様をかいたり、顔の部分には別の白い紙を貼ったりすると、もっと感じがでてくると思う。
- 6~10の折り上げるところ、段折りのところの割合の見当付けがむずかしい。教師も、いっしょに折ったり、何度も折っていくうちに感覚で覚えていくようだ。
- 折り紙の基本となる「きちんと折る」ことは、習慣としても体得させたい。
- 折っていく過程の中で、いろいろ創造させながら進めていくとおもしろく楽しい折り紙活動ができる。
- 小さい紙で折り、プレゼントカードに貼ったりして活動を広げていた。

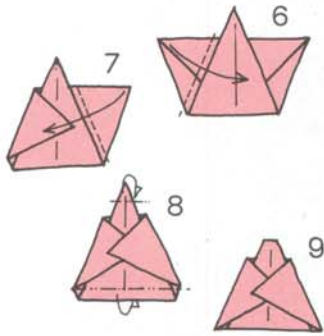
指導の経過

折り方と呼びかけ

- ・四角の折り紙を用意する。
- ・四角を半分に折って、三角を作りましょう。
- ・何に見えるかしら。

- ・もとに戻します。開きましょう。三角のお部屋が二つできました。お部屋とお部屋の間には、アイロンをかけた時の線がありますね。
- ・その線のところに、外側の線がやってきます。反対側の線もやってきて握手です。
- ・こんな形になりました。

- ・さっき「小人さんの顔」と言ったところの三角さんが一人残りました。この三角さんも一人ではさみしいので「入れて！」と言って仲間に入りました。
- ・尖っている方を下にしておきましょう。



- ・さあこれで、できあがり。どこが顔になるのかしら？
- ・これが「めびな」、女の子のおひなさまです。「おひな」も同じように折ってみましょう。

- ・ここまで折れたら、ひと休み。
- ・着物をきせてあげるとき、「だいきさま」は強そうに見えるように着せてあげましょう。みんなは、「強いゾー。」というポーズの時どんな格好をしますか？

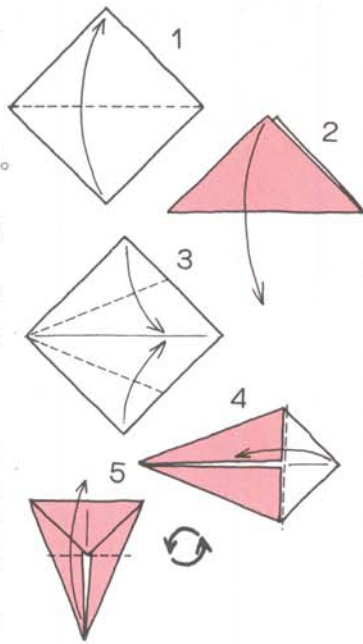
- ・そうね。肩をこんな風にはるでしょ。「だいきさま」もそんな風にしてみましょう。肩のところをほんの少しあけるようにするといいですね。

- ・「おひな」は頭にえはしをかぶっていますね。この「だいきさま」にもすてきなえはしをかぶせてあげましょう。

- ・今度は「めびな」と違って、前に折ってから上に折り返し、段折ります。

- ・すそのところは「めびな」のときと同じに折ります。

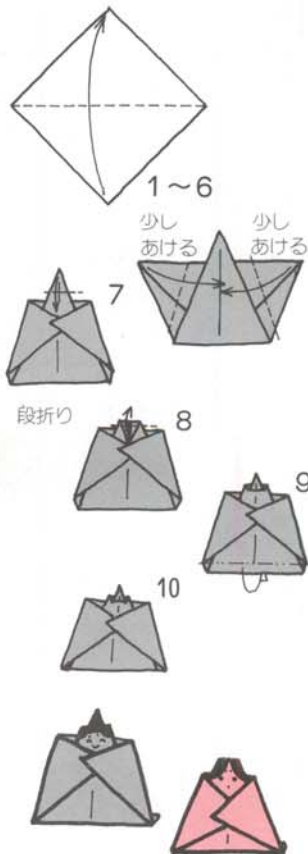
- ・できあがったら、二人仲よくならべてあげましょう。お顔も書いてあげましょうね。



- ・下の尖った角が、まっすくの横の線から、これ位(実際に見せる)上に「こんにちは」と顔を出します。どの位かよく見てね。

- ・次に、向って左の方から、この中で一番大きな真ん中の三角の隣りの横線のところを、中心線の方に折ります。できたら、右側も同じように折りましょう。また握手です。

- ・上の尖ったところと、下のまっすくの線のところを後に折ります。少しだけね。



幼児の動きと反応

- ・いろいろに角度を変えたり、紙をまわしたりしながら考えている。
- ・「お山」「ピラミッド」「おばけの印」など。

- ・「こうかな？ こうだ。」と言いながら折っている。

- ・「あつ、ここに顔をかくと小人だ。」「剣だ。」「こうするとスプーン。」「飛行機」「弓矢にもなる。」などいろいろに変えながら、形をみつけている。

- ・「あつ、ひよこのくちばしだ」「きャンプする時のテントになった。」「ビューンって、飛行機にもなる。」

- ・「これ位？」と先生の手元を見ながら折り上げる。

- ・「ヨット」「帽子」「冠」(逆に向けて)「傘」「テーブル」「きのこ」「シヤベル」

- ・「たけのこみたいになったね。」「だんだん近づいてきたよ、着物をきているみたい。」「手をこうやって(しゅさをする)いるよ。」

- ・「富士山だ。」「身体にも見えるよ。」

- ・「すわってるみたいだね。」「ここに目や口をがいてあげるといいよ。」などと考えている。

- ・「あつ、すわった。」
- ・一度折っているの、各自思いつきながら、また、友だちと教えつこをしながら折っている。

- ・肩をはったポーズをとる。得意気である。



作品制作：貢川進徳幼稚園園児

- ・「かわいいね。」と二つを並べてみる。

指導上の留意点

- ・教師もいっしょに折る。(事前の研究もしておく)

- ・紙は机の上において折るようにさせる。

- ・角と角がきちんと合うように折らせる。

- ・中心線には、指でしっかりとアイロンをかけさせる。

- ・中心線にきちんと合わせて折るようにする。

- ・特に、尖った角のところは重ならないようきちんと折らせ、左右の幅、角が同じになるよう気をつけながら折らせる。

- ・折った三角の頂点が中心線に重なるように、そして二等辺三角形の底辺がきちんと一直線になるように折らせる。

- ・上に折り上げるのがどの位が適当かむずかしいので、教師も折ったものを見せて、一人一人に助言を与える。

- ・折り込んだ角の先が、中心で少し重なる位になるよう折らせる。



- ・下の線はしっかりと折って、立たせる時は折ったところを開きかけんにしながら安定してすわるようにする。



- ・肩のところのあきぐあいに注意する。下の線がまっすくになるように折る。

- ・顔の大きさを考えさせながら、段折りさせる。

- ・あまりたくさん折りこんだり、折り上げたりしないように、友だちや教師のと比べながら折っていくようにさせる。



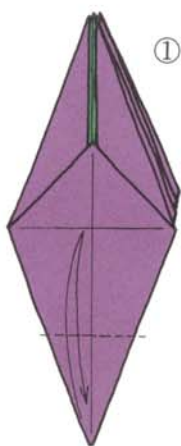
海外の折り紙

—“第4回世界折紙展” 出品作品より—

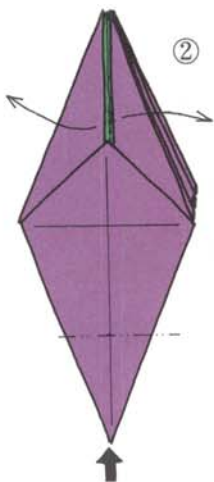
マウンテン チーズル

ビットリオ・マリア・ブランドーニ (イタリア)

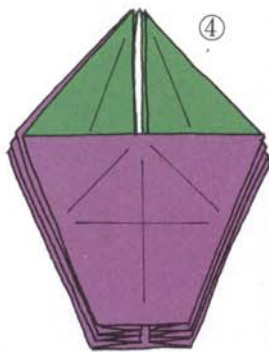
Mountain teasel by Vittorio-Maria BRANDONI (ITALIA)



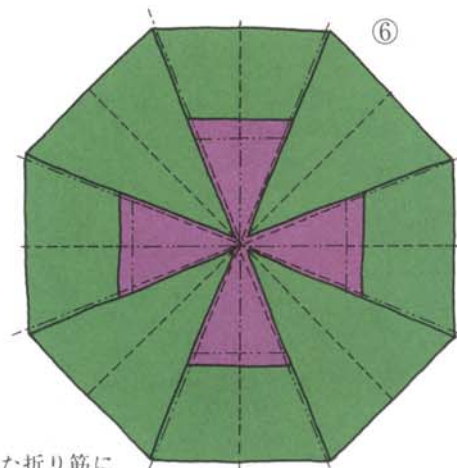
① 花



かえるの
基本形IIより



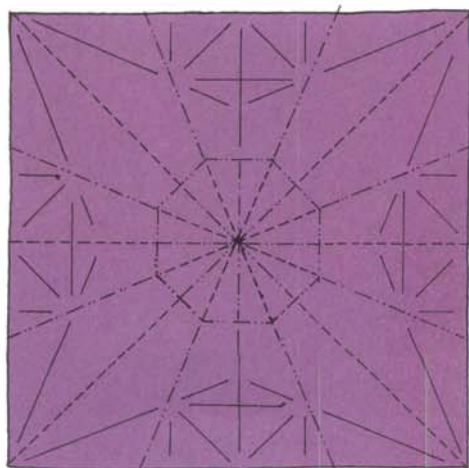
④



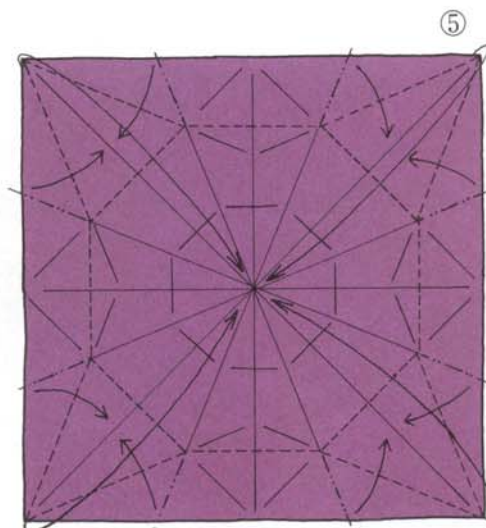
⑥

先につけた折り筋に
従って折ります

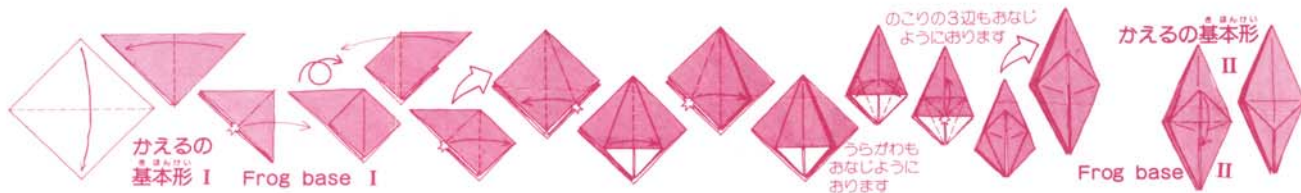
展開図

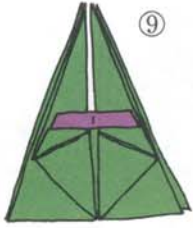


③

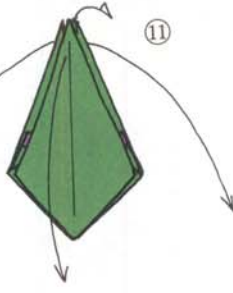


⑤

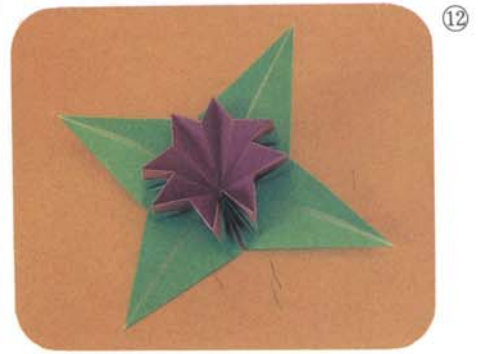




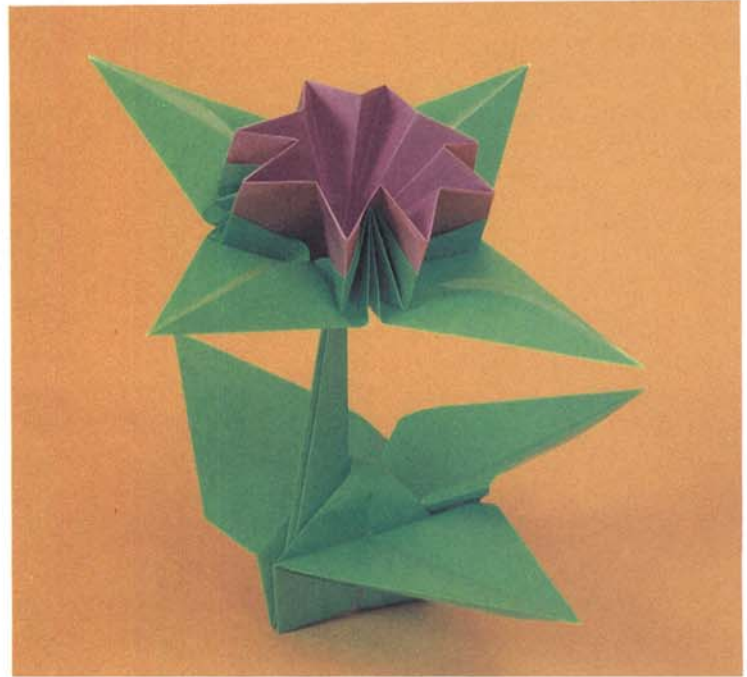
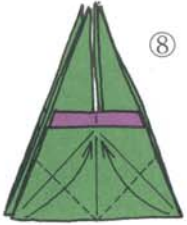
残りの3か所も同じ



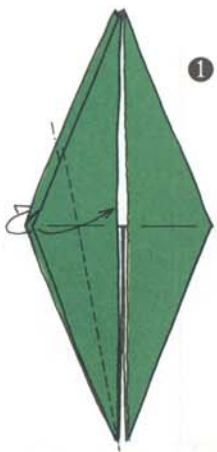
4か所とも
折り下げます



茎に花を差し込みます



茎と葉



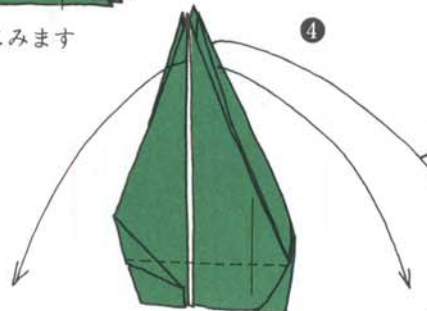
つる 鶴の基本形I より



中わり折り



差しこみます

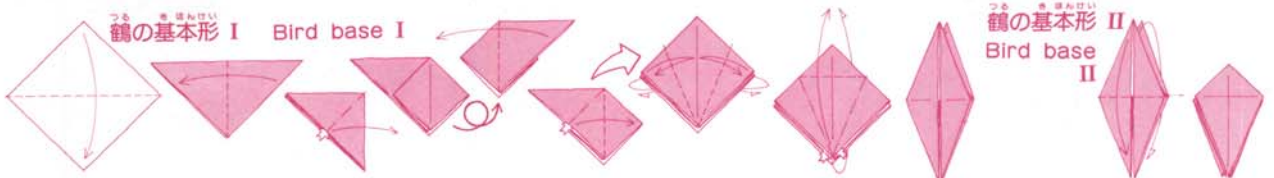


3か所を
折り下げます

5



“折り鶴”を少し変えただけで、こんなふうにも使えます。おもしろいですね。



— 海外だより —

■“国際折紙展”作品募集中!

イタリアの北部にあるピチェンツァ市(ベネチアの西方、人口約12万人)で“国際折紙展”が開かれます。この作品展は、同市の公共図書館連合の企画によるものですが、折り紙のエキスパート、ニルバ・ビルラン女史の意見による「折り紙入門講座」も開かれるなど、なお一層の折り紙普及を目的としているそうです。

外国からの違った形、異なった組み合わせの折り紙を集合させれば、常時“巡回展”を開催するのにも役立つし、世界中の折り紙普及度を知ることにもなるとかで、世界各国のオリガミアンの作品を募集中ということです。送り先などは下記です。あなたも出品なさいませんか?

○締め切り……3月末日必着のこと。

(注: 郵送の作品には、通関のトラブルを避けるため“SAMPLES ONLY”と表記してください)

○送り先……Dr. Laura Oliva
Biblioteca Civica Bertoliana,
Vicenza (36100),
ITALIA

■楽しかったフィレンツェとパリ

—オリガミアンたちと会って—
高濱利恵

昨年11月27日から12月7日まで、ヨーロッパ旅行をしてきました。これは、ここ数年来日本の絵画や書をヨーロッパに紹介してきた欧州美術協会の主催する人形の作品展が、フランスで開かれるのに参加したためです。今回は、日本の伝統人形のほか、きめこみ人形、紙人形、押絵など、あらゆる種類の人形が集められました。折り紙の能人形も是非ということと、私の作品4点と松戸市の島村芳子

おりがみ

“おりがみ広場”は、読者の皆さんの情報交換のページです。
作品展のこと、折り紙に関したいろいろなお話やご意見など



イタリアの折り紙作家たちと。
左から2人目、R・モラシー博士
(右から3人目、高濱さん)

さん、近藤八重さんの作品2点も参加しました。

オランダのアムステルダム経由で、28日に展示会場であるフランスのアンチープ市に到着。こちらから行ったのは8人でしたが、向こうの方のお手伝いで午前中に展示をすませ、夜は、300人程の名士を招待してのオープニングパーティが開かれました。

その後、モナコ、イタリアのニース、ピサとまわり、12月1日にフィレンツェに入りました。ここでは、私が当地に行くことを知らせておいたイギリス折紙協会のデビッド・プリルさんの計らいで、

折り紙普及センターのロベルト・モラシー博士や他の折り紙作家の方々にも会うことができました。

その後、パリに入り、フランス・オリガミ協会のジャン・C・コレイアさんのお宅におじゃまし、私に会いにわざわざパリまで来てくださったイギリスのプリルさんやエリック・ケネウエーさんとともに、楽しい時を過ごしました。コレイアさんのアトリエは、絵の作品や画材の他に、折り紙の作品がいっぱい。その中には、第4回世界折紙展出品作品の「イグアナ」の折り方を長い長方形の紙から順に完成まで、図案的に並べた作品や、頭蓋骨のついた背骨を折った精密な作品などがありました。どの作品も複雑で大きなもので、大いに勉強になりました。折り紙は主として白い紙を使うそうですが、色の必要な時は、スプレーで染めるとのことです。

彼の家庭は8歳の男の子、2歳の女の子がいて、とても賑やか。帰りには、ほっちゃんの作った折り紙の「ばくばく羊」を頂き、またお会いする日を希望してサヨナラしました。昨年、日仏アート交流協会主催の催して福岡に来られた時の忘れられないものが、「焼酎」と「パチンコ」だというコレイアさん、帰りに私をホテルまで送ってくださった愛車は、なんと“HONDA”でした。



コレイアさん宅で。
左から、D・プリル氏、J・C・コレイア氏、
E・ケネウエー氏

■アマリンス・H・D・ジョングさん急逝

——桃谷澄子——

(昭和56年)12月21日の夜9時頃、オランダのマーチン・ホブマン・D・ジョングさんから、ご夫人のアマリンスさんがお亡くなりになったとの国際電報が届きました。お葬式は、22日午後1時半からとか、「彼女のために祈ってほしい。」というメッセージが加えられていました。

去る11月9日の朝、マーチンさんから国際電話があり折り紙をお送りしたり、



11月20日頃にはアマリンスさんの病床からのお便りもいただいておりました。この夏(昭和56年夏)、「白鳥」と名付けた素敵なお家を建てられ「遊びに来て下さいね。」というお便りもありましたのに。

はるかに、彼女の冥福をお祈りしたいと思います。

——アマリンス・ホブマン・D・ジョングさんは、オランダを中心にヨーロッパで活動なさっていたオリガミアンで、“第4回世界折紙展”にもカード数点(56年8月号30ページに一部を掲載)を出品されておりました。44歳でした。——(編)——

広場

サークル活動や、お寄せください。

おたより

私は、今年の3月に初級講師資格をいただき、現在、主人の「在外研究」に付いてオーストラリアの首都キャンベラに来ております。ここに来てからはや3か月が経ち、こちらに居るのもあと約10か月となりました。毎日、主人は大学の研究室に、子供は学校に行ってしまう一人になるので、バスで10分位のところにあるウォーデン・カレッジに英会話の勉強を兼ねて通っております。

そのクラスで、先日、「折り紙を教えてほしい。」といわれ、簡単な物を3つ教えたのですが、教える方は英語を使って説明する難しさ、教わる方も初めて折り紙を手にしたことの難しさで、双方とも大汗でした。でも、どうにか形にはなって、皆に喜んでもらうことができました。

私は最初、折り紙のことを「Paper-Folding」と説明しておりましたが、こちらで「Origami」という言葉が意外に知られているのに驚きました。また、子供の誕生パーティーに友だちが10人集まりましたおり、皆で折り鶴を折ったのですが、大人に比べて子供たちの理解の早いにも驚いています。

今、玄関に入ってすぐの部屋にいろいろな折り紙の動物や和紙を使った「めびな」「おびな」などを飾って、少しでもこちらの人に折り紙を知ってもらえたらと思っています。

《1981年11月 キャンベラにて》
(〒357 埼玉県飯能市八幡町 7-6 大浦輝子)

昭和54年(1979年)10月に、外務省の文化交流使節としてNOAからの「折り紙使節」2名が太平洋3カ国を訪問。オーストラリアのキャンベラでも講演と講習の会が開かれ好評でした。(編集部・注)

おりがみ情報

■「千羽鶴折形」初版本、京都で発見!!
——大橋皓也——

昭和51年に、日本折紙協会によって復刻出版された「千羽鶴折形」は、世界で最も古い折り紙の本としてあまりにも有名ですが、私の知る限り、その伝本はこれまでに12冊しか確認されていませんでした。

ところが、先年亡くなられた京都大学の某教授の蔵書の中から、新たに1冊発見されたのです。どうしてこの本がその先生の蔵書の中にあつたのかは定かではありませんが、先生の研究分野は折り紙と全く関係のないものであつたことは確かです。

「千羽鶴折形」の研究については、中西康夫氏の先駆的研究により、折り紙の作者は伊勢国桑名の長円寺住職・魯縞庵義道一円であること、編著者が秋里籬島、折り図等は竹原春泉齋であることが確かめられています。また、吉田正美氏が「おりがみニュースNo.22~28」に、この本に関する詳細な分析研究の結果を発表されています。

そこで、それらの資料を手がかりにして調べてみますと、今回発見された本は初版本一寛政9年(1797年)のもので、題

箋紙は「千羽鶴折〇」しか残っていませんが、その書体や題箋紙が貼つてあつた跡などから見て、現在、東京大学図書館にあるいわゆる「南菜本」と同じ「秘傳 千羽鶴折形 完」のように思われます。

さらに詳しく調べてみたいと思つていますが、とりあえずニュースとしてお知らせする次第です。

新刊書紹介

●協会に寄贈された分についてご紹介しました。

■「折紙館1・2・3」

「やさしい おりがみ」、「たのしい おりがみ」、「ゆかいな おりがみ」

中野独王亭 著 高橋書店 刊
A-5判 定価 各830円

やさしい折り紙(1)から、ちよつとむずかしい折り紙(2・3)までを各号ごとに新作ばかりでまとめた、楽しく・わかりやすい本です。

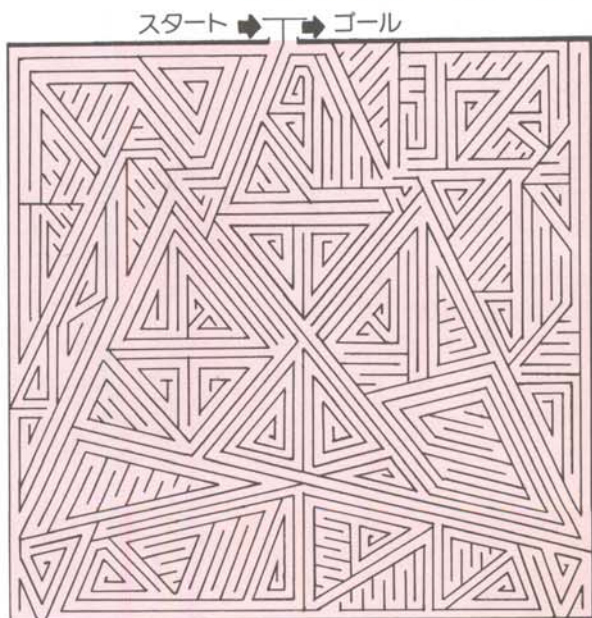
■「立体折り紙」 A-5判

「ねじり折り」 B-5判 A-5判
藤本修三 著 定価 1,600円

幾何・化学・立体構成の3部門が折り紙によってまとめられた様な、マニア向きのセットです。ご希望の方は、送料350円を添えて下記へお申し込みください。

〒669-23 兵庫県多紀郡篠山町郡家23-4
藤本修三 ☎ 07955-2-0502

おりがみ頭の体操



おりがみ迷路No.2

今月の問題

◆ヒント◆

折り紙で作った、
伝承の〇〇〇〇〇の形

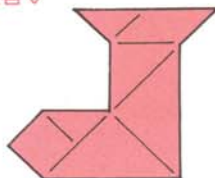
「おりがみ迷路第2弾」3回目です。ガンバッテ挑戦してください。スタートからゴールまでうまくとどると、通った跡は何の形になるでしょうか?

答は、巻末とじ込みのハガキに「たどった跡」と「何の形」かを書いてお送りください。正解者5名に「折り紙セット」を差し上げます。(正解者多数の場合は抽選)

締め切りは、1982年3月10日(当日消印有効)。正解と当選者の発表は6月号誌上で行います。たくさんのご応募、お待ちしております。

♡12月号の答と当選者♡

江指 みち (大阪府)
大須賀いよ (愛知県)
高田 亜起 (青森県)
田畑 敦子 (長野県)
安井ふさの (石川県)
(正解者…他48名)



NOA

おりがみガーデニング

1枚の紙から広がる夢、創り出す喜び……。
あなたも折り紙の楽しさを味わってみませんか？



おひなさま (長野さつき)



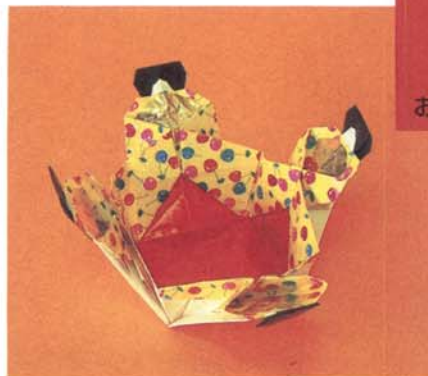
おひなさま (森本林平)



鳥
(菅又秀夫)



花(風)車 (長谷川太市郎)



ひなあられ入れ
(満田きく)



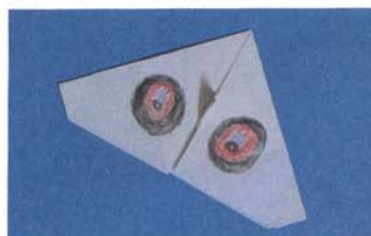
指遊びのための動物
〈狐の応用〉
(内池和子)

作品をお寄せくださった皆さん (11月30日締切、敬称略)

- 中村 恭子 (東京都・小1) — 額縁・雪の結晶
- 中井 幸洋 (東京都・小1) — 額縁の奴さん・兜・入れもの
- 山口 吾郎 (東京都・小1) — 狐
- 渡辺 ト三枝 (千葉県) — 玉椿・新案くす玉の作り方
- 長谷川 太市郎 (広島県) — 花(風)車
- 木下 一郎 (大阪府) — テント
- 扇元 久米 (宮城県) — 絵馬
- 満田 きく (京都府) — おひなさま
- 満田 あい (京都府・6歳) — 桃・八重椿・花びら各種と組み合わせ方
- 高松 信英 (長野県) — ふたつき箱
- 福島 信也 (埼玉県・9歳) — ゲイラだこ
- 石橋 美奈子 (大阪府) — 指人形 “こねこちゃん”
- 西川 誠司 (奈良県) — 鬼・コウモリの顔
- 津田 良夫 (岡山県) — 花びん・ワイングラス
- 内池 和子 (福島県) — 伝承の狐の応用 (犬・兎・狼・豚・猫・牛・チーター・ライオン)
- 熊坂 浩 (東京都) — ソファ2種・テーブル→本棚→皿・鏡台・マガジンラック・エレクトーン・お地蔵様と祠・電気スタンド付勉強机・時計・バナナ・ステレオ

花瓶・ワイングラス
(津田良夫)

ゲイラだこ (福島信也)

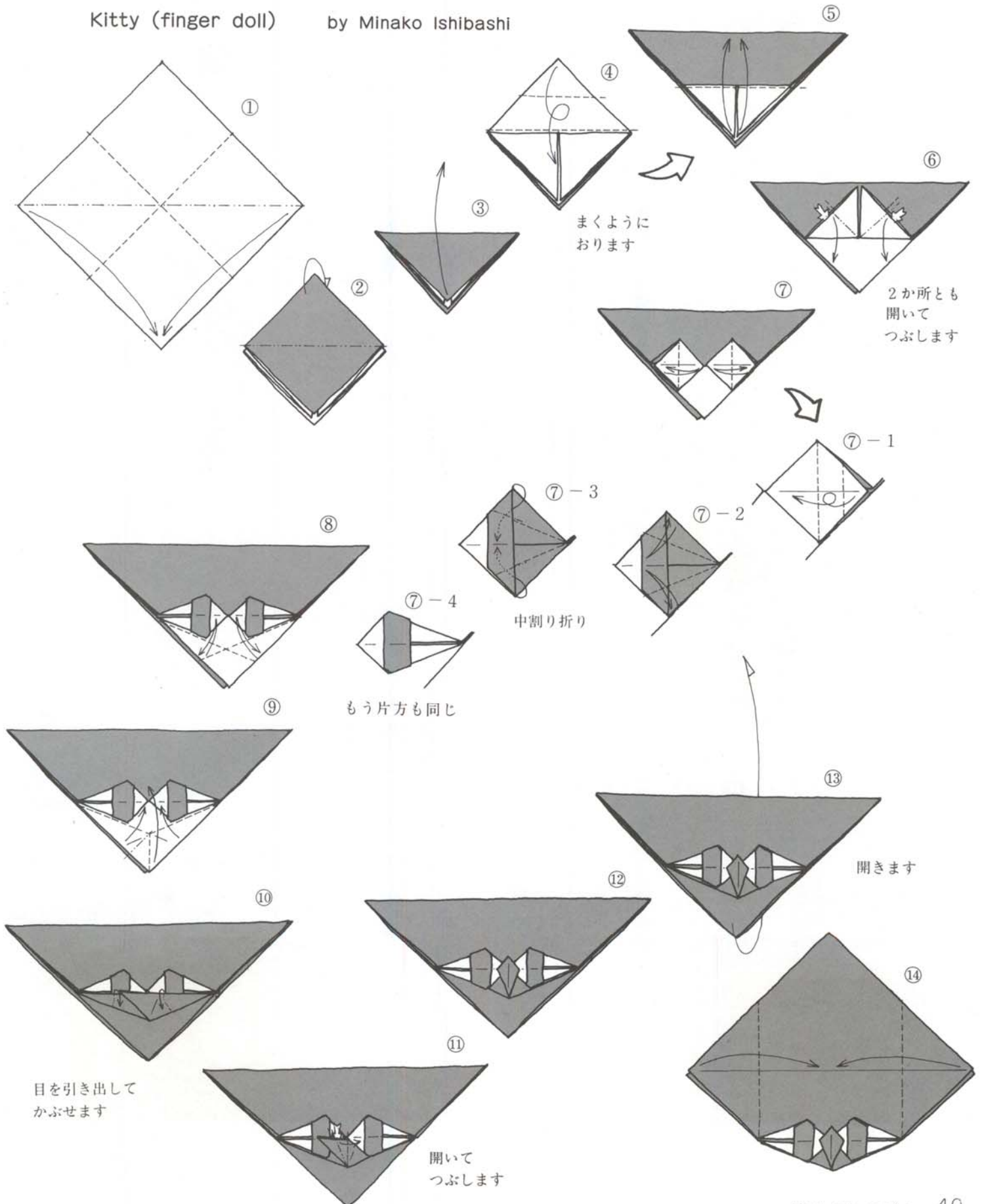


こねこちゃん (指人形)

石橋美奈子

Kitty (finger doll)

by Minako Ishibashi





春駒

田中具子

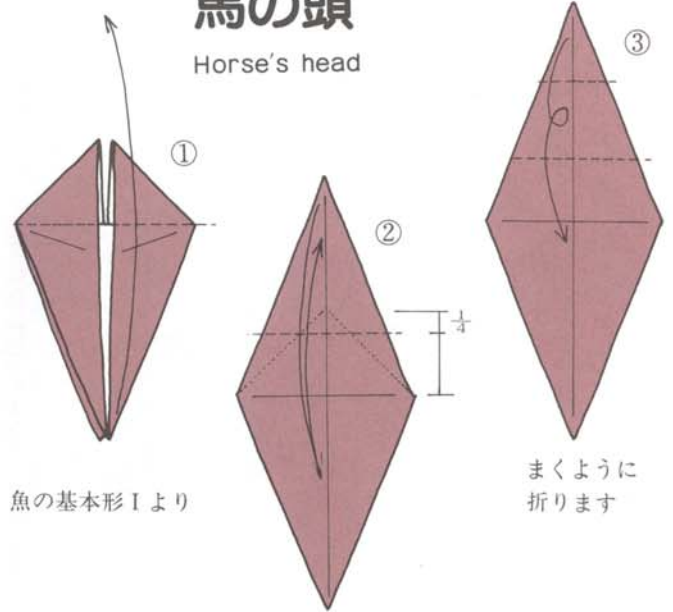
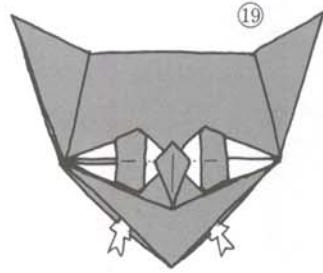
Hobbyhorse

by Tomoko Tanaka

馬の頭

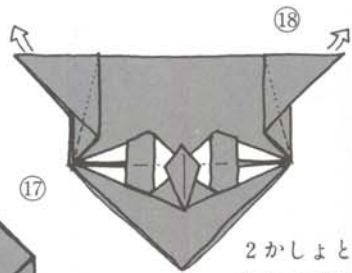
Horse's head

写真のように指にかぶせて
遊びます。

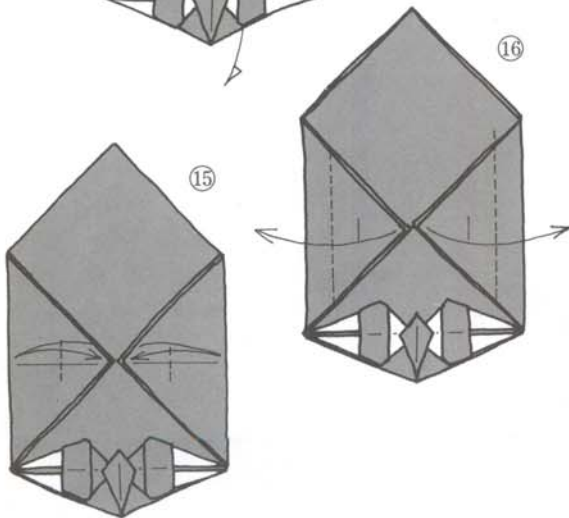
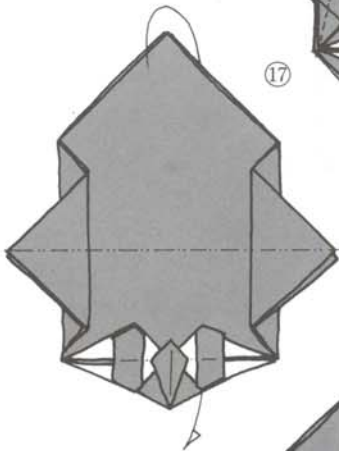


魚の基本形 I より

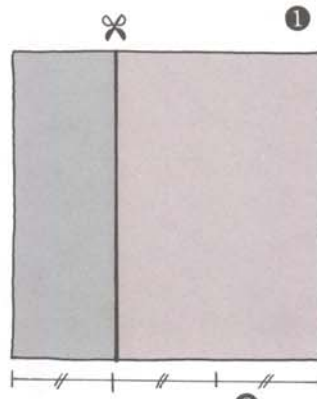
まくように
折ります



2かしょとも
引き上げます

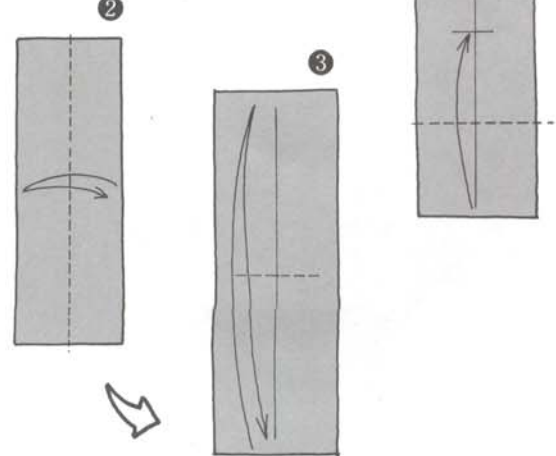


19ページよりつづく

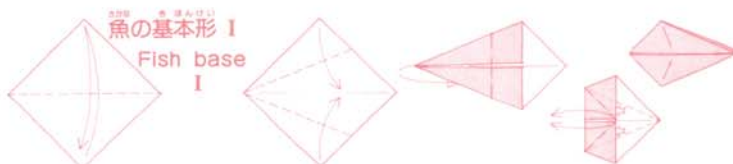


軸と車

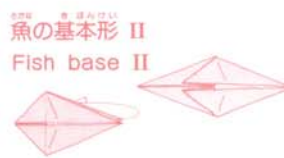
Shaft and Wheel



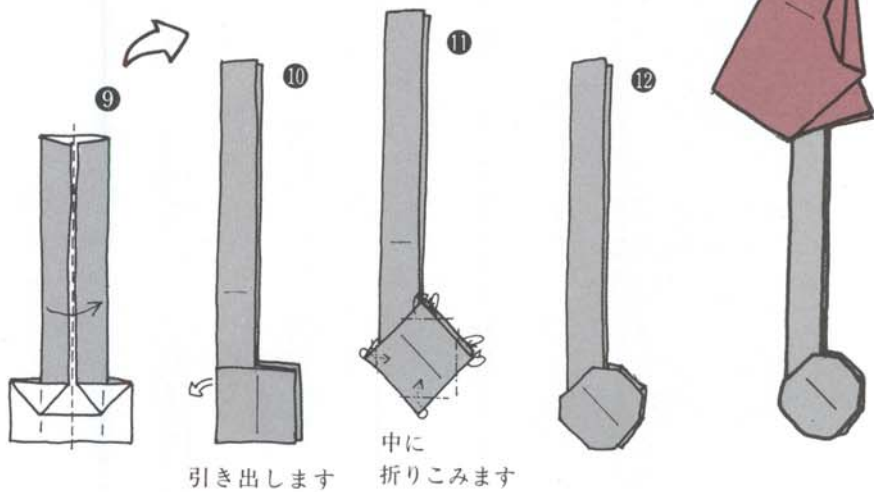
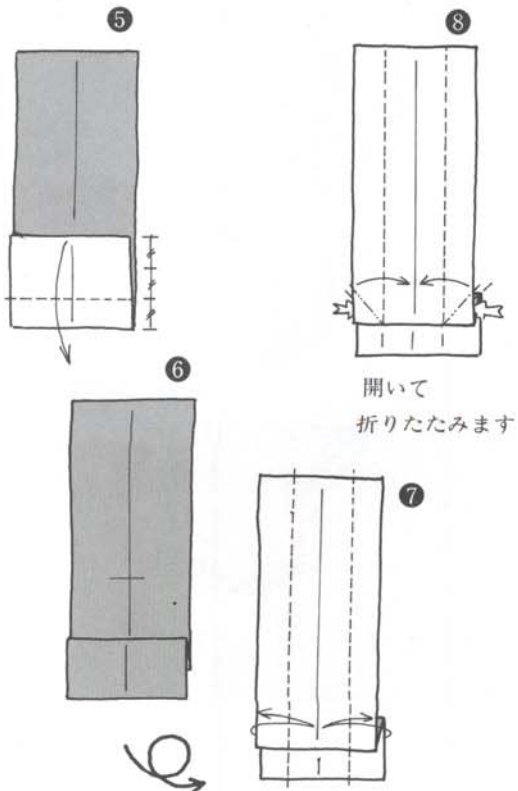
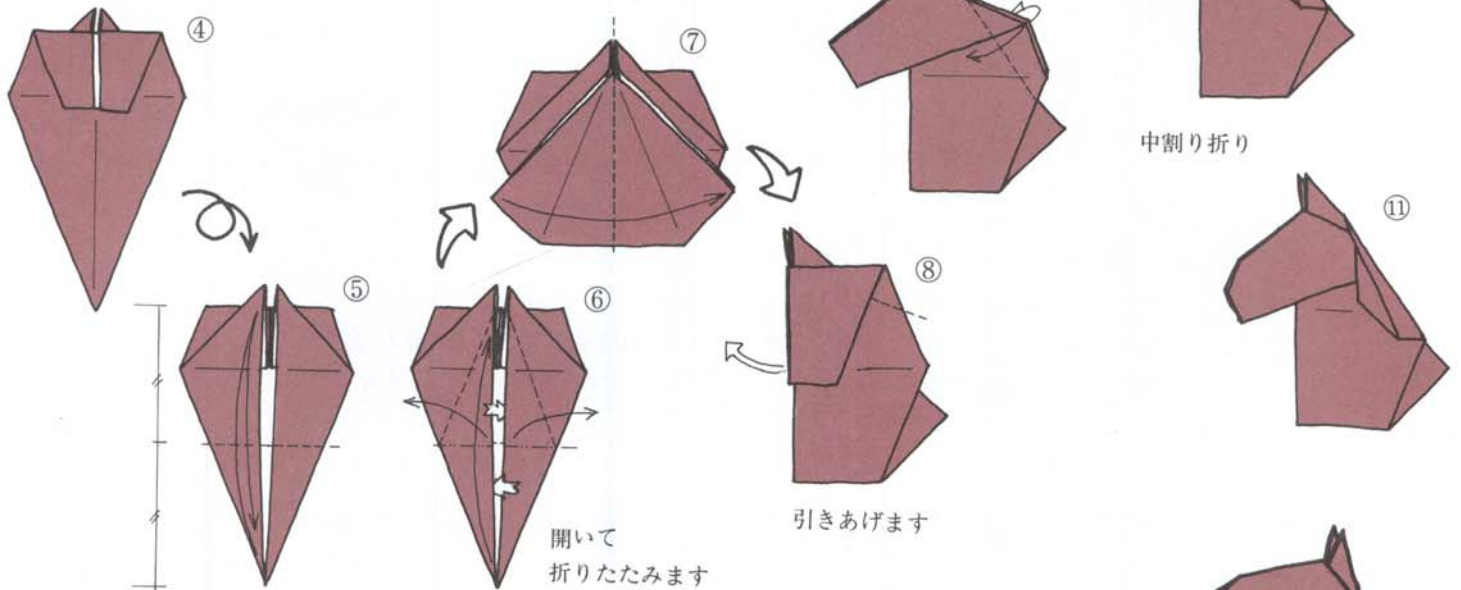
魚の基本形 I
Fish base I



魚の基本形 II
Fish base II



“春駒”は、竹の先に馬の頭の造り物をつけ、もう一方に車をつけたもので、子供がまたがって遊ぶ日本の伝統的なおもちゃです。



皆さんからの作品をお待ちしております

- 正方形などの単純な形で折った作品であること。
- 必ず創作であること。(ただし伝承作品の新しい感覚での利用法なども含めます。)
- 応募作品にはできるだけ折り図、または折り順を示すものをそえてください。基本形から始められるものでしたら、その基本形からで結構です。
- 作品は同じものを2点送ってください。
- 応募作品のうち特に良いと思われるものはこの雑誌で紹介し、できるだけ折り図ものせていきたいと思ひます。
- 応募作品は返却しませんが、作品と折り図は協会にて、一定期間大切に保存いたします。
- あて先…〒102 東京都千代田区五番町12 ドミール五番町 1-096

日本折紙協会 編集部

※電話番号、年齢を必ずお書きください。

小特集

まるのおりがみ (前編)

福田 恵日 (国際美育交流連盟代表理事)

Japan Originality Mathematics Origami

読者の皆さんからご希望の多かった“まるのおりがみ”を、今月号から3回(前編・中編・後編)に分けてご紹介します。前編は原理と発生と基本形についての“まるのおりがみ—基礎篇”です。筆者は、“まるのおりがみ”の研究者で、丸の折り紙作家の福田恵日さんです。

● まるのおりがみ(円形折紙)の原理と発生の原点

および、その利用価値 ●

読者の皆さん!

このコーナーでは、いつもの四角い折り紙ではなく珍しいユニークな折り紙をご紹介します。まず最初に、この本の“おりがみギャラリー”(30・31ページ)をご覧ください。それは「まるのおりがみ」つまり、“円形折紙”の作品です。ごらんとおり、この作品は組み紙形式のユニット折り紙ですから、伝統的な四角の折り紙1枚から折り上げた内裏ビナと異なつて顔の形もまるまるとできあがり、髪型も富士額の美しい曲線をえがいて折られています。

では、この折り紙はどのような約束により作られて行くのでしょうか、「まるのおりがみ」の発達段階を簡単に振り返りながらご説明して行きたいと思ひます。

「まるのおりがみ」は本来「色へギ合わせ」と言つて、薄い経木を丸く切つて色で染め、大小の円形を貼り絵形式に表したもので、学校の教材として出発しました。

貼り絵は、のりを使うために作品の台紙がゆがんだり、のり跡が見えて作品がみにくくなります。みにくい作品を防ぐため、経木を二つに折つて貼るという技法が生まれました。経木を二つに折ると比較的割れやすいため、しばらくして経木から紙へと、材料を代えざるを得ませんでした。貼り絵の中で四角の器や三角の旗を貼る時、円形の紙を二つ折つて半円を作つて貼つたのと同じ様に、円形のまわりを3か所もしくは4か所折つて曲げて貼れば、三角形の旗や四角形(正三角形や、正四角形ではない)の器ができ、しかも、折つた部分にだけのりをつけて貼れば、紙の真ん中にのりもつかず、みにくいのり跡が見えない半立体に浮いて見える作品ができます。

さて、本来の折り紙の話にもどります。三角や四角、ある

いは長方形・平行四辺形などと同様に、円形も一つの形の仲間としてとらえ折り紙をする伝統的・一般的思考方法と違つて、「円形から三角形や四角形を折つておいて、それを基本形として折り紙をする」という思考形式が、貼り絵の中から自然発生的・自然習得的に生まれてきました。「まるのおりがみ」は、ここに《出発の原点》があるのです。

折り紙の“折る”という単語は、日本語の場合“折り紙”のためにある様なものと言えませんが、英語の“折る=fold”という単語は、“折る”という意味ばかりでなく「羊小屋」、「羊を囲いに入れる」という言外の意味を持っています。草原の杭にながれた羊が、そのひもを半径にして丸く草を食べたことから円形が発見されたと言われますが、まさに英語の“折る=fold”が、円形折紙の単語にぴったりなのは偶然の一致でしょうか。

A図を見てください。それは、円形の中の正方形、正方形の中の円形、また、その中に内接した正方形と円の中心に向かって同じことを繰り返した“自己稠密”的表現図形です。

最初の円形の直径を140mmとした時、つぎの円形の直径は100mm、70mm、50mm、35mm、25mm、17.5mm、12.5mm(近似値)となつて順に出てきます。この円形の数理的比率を調べてみますと一定のリズムがみられます。この関係をよく見れば、円形の直径が大きい方から小さい方へと一つおきに、 $\frac{1}{2}$ 、 $\frac{1}{4}$ 、 $\frac{1}{8}$ となつており、また、反対に小さい方から大きい方へ $\sqrt{2}$ 倍の比率がみられます。そして、面白いことに大きい円形から小さい円形へと面積が $\frac{1}{2}$ 、 $\frac{1}{4}$ 、 $\frac{1}{8}$ 、 $\frac{1}{16}$ 、 $\frac{1}{32}$ 、 $\frac{1}{64}$ 、 $\frac{1}{128}$ という一定の幾何級数的段階よりできています。

C図を見てください。大円の直径140mmは正方形の対角線であり、小円の直径は正方形の辺にあたる100mmですから確

かに $\sqrt{2}$ 倍の比であり、古代の数学者達が“不思議な数”として取り扱ったことは幾多の数学や哲学の歴史書に示されているとおりです。

円形折紙の直径は、前述のとおり“色へぎ合わせ”の時代には、50mm、30mm、20mm等の大きさでした。それを、関 孝和(日本の数学・和算の大家)の研究者であり、特に円理の追求をしていた私の父が、正方形(正角)の内接円とその内接正方形(偏角)の内接円としての50mm、35mm、25mmに改めて、現在の比率ができてきました。また、それに加えて、もっと大きな形態造りとしての表現を出したいため、50mmの円形に外接した正方形の外接円を作り、70mm、100mmと拡大して最後に140mmが加わってきました。つまり、現在使われている140mmは出発点ではなかったのです。

したがって、正確には100mmの上は 141.421356 mmの無限循環数であって、この $1:1.41421356 \dots (\sqrt{2})$ という表現方法は後世になって生まれた)の比は「調和の門」と名付けられた美的比率の原点とも言えるものでしょう。この比率より、ミロのビーナスの「黄金比」が導き出されることは、読者の皆さんの中でもご存知の方が多いことでしょう。

さらに、D図の様な八つの円形を1単位にした理由は、先にも述べたとおり円形の大きさを用途によって拡大した時、その種類が多くなると各々の円形を選択するのに名称がないと不便です。8種類の円の数がちょうど“ドレミファ…”に当

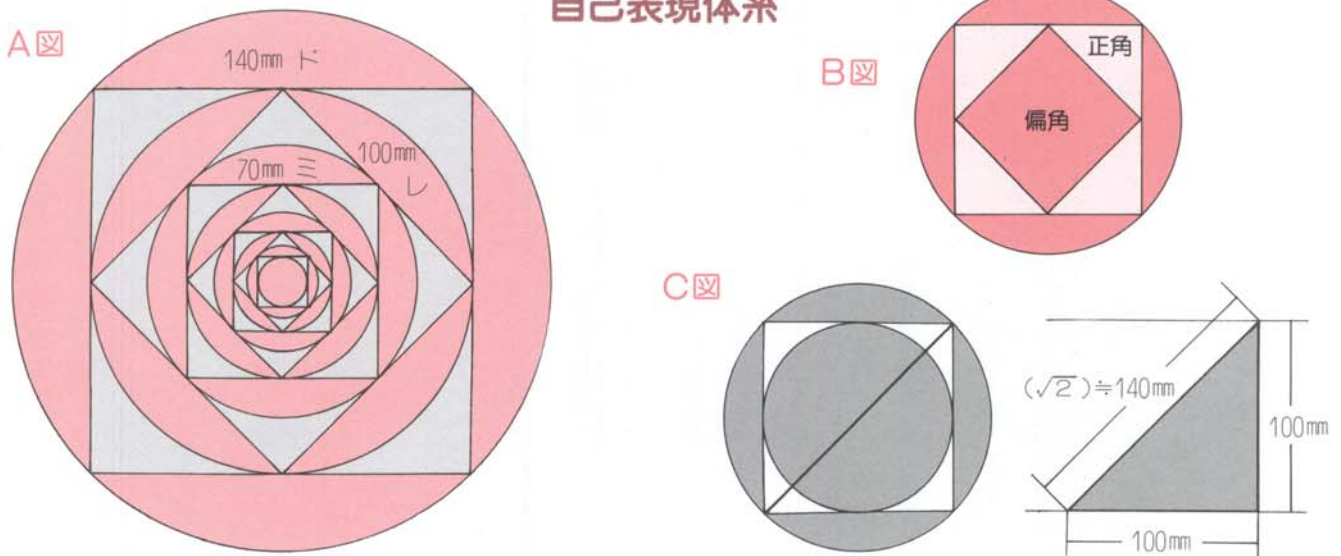
てはまりましたので、水の波紋が外へ外へと広がる様に12.5mmの小さな円を㊦と名付け、大きな140mmの円を1オクターブ高い㊩としました。しばらくの間この名称を使っていたのですがある時、お寺の鐘の音を聞いているうち“音立体”に気づいたのです。弦長は長い方が低音で、短い方が高音であることは音楽を深くは知らない一般の人々でも知っていることでしょう。私自身、視覚による美の追求者であっても、残念なことに聴覚による美の追求者ではなかったのです。そこで、平面的な水平思考は中止して、3次元的立体思考を取り入れ140mmを低音の大きい㊩とし、12.5mmの1オクターブ高い円形を小さい㊦と改名して、現在の名称が決定したのです。

“円形折紙”の利用方法は、「弦と弧」をいかにうまく調和させて使いこなすかということであり、あまり複雑に折りすぎて円弧の切り口が死んでしまっただけ面白くありません。四角は円と比較した時静的な要素を持ち、円形は動的で躍動的な要素を含んでいます。円を二つに折ることにより「〇」静的な直線と動的な曲線が得られ、変化に富んだ単位形(ユニット)が数多く生まれてきます。

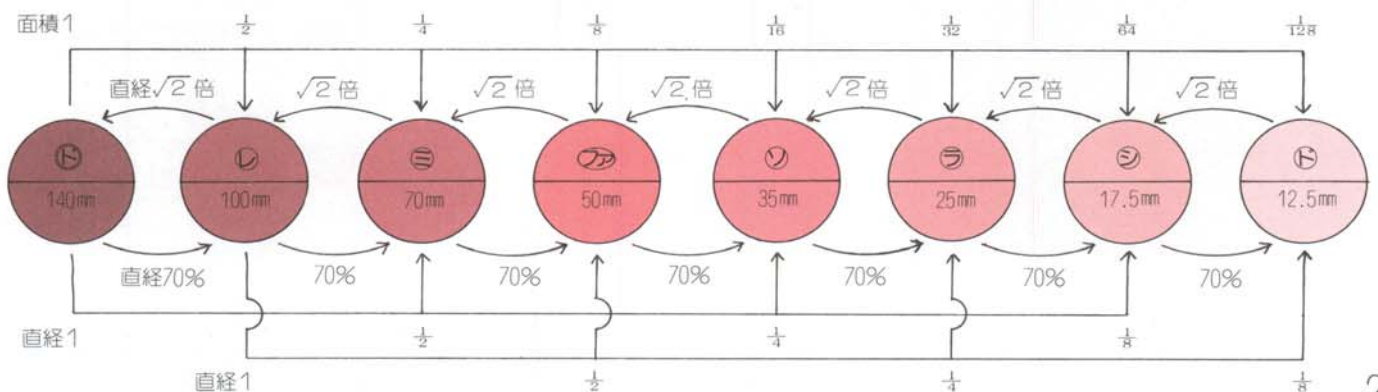
再度“おりがみギャラリー”をご覧ください。

桃の花、男びなの冠、女びなの扇、三人官女の持ち物などは円形1枚から折ってあります。読者の皆さんにも、これは完全な折り紙の技法であることを認めていただけることと思います。また、きものも基本的には1枚の円形です。

自己表現体系



D図 音立体 (トーナベル) とその部分と全体の比率



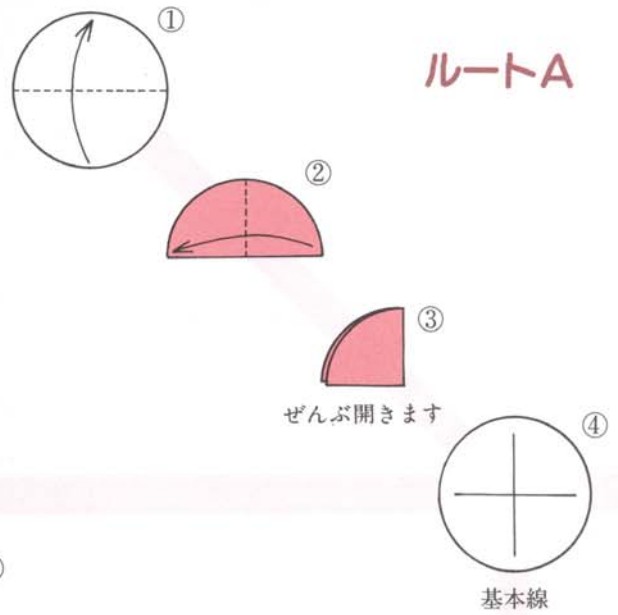
● 基本形とユニット

「まるのおりがみ」=円形折紙、の利用方法と教育的価値は次のように要約できます。

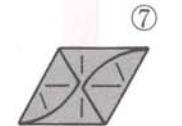
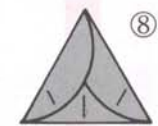
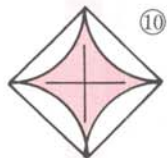
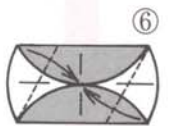
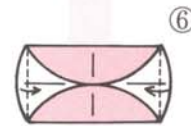
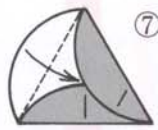
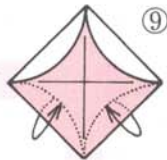
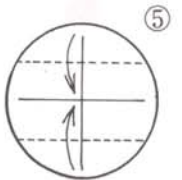
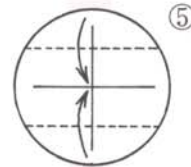
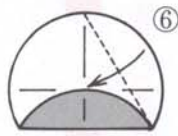
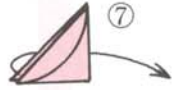
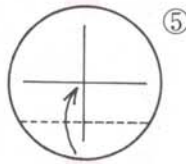
1. 大小の円を単位形に折り組み合わせながら、均整のとれた動植物を作る“ユニット折り紙”(良い作品ができたなら、保存の意味でとめばりをする。)
2. 円形1枚を、三角・四角・五角・六角等の基本形に折りそこから出発して、角の折り紙では表現しえない曲線美の折り紙を折る。
3. 幼児教育の一端として簡単な基本形を折り、遊びの中に算数的・音楽的基本の学習をする。
4. 幾何学的な組み合わせによる空間構成としてのデザイン。

では、次の“基本形”と“単位形”の折り方と種類をご覧ください。

ルートA



四つ折りして上の2枚だけ折ります



円に内接した正方形



円に内接した正三角形

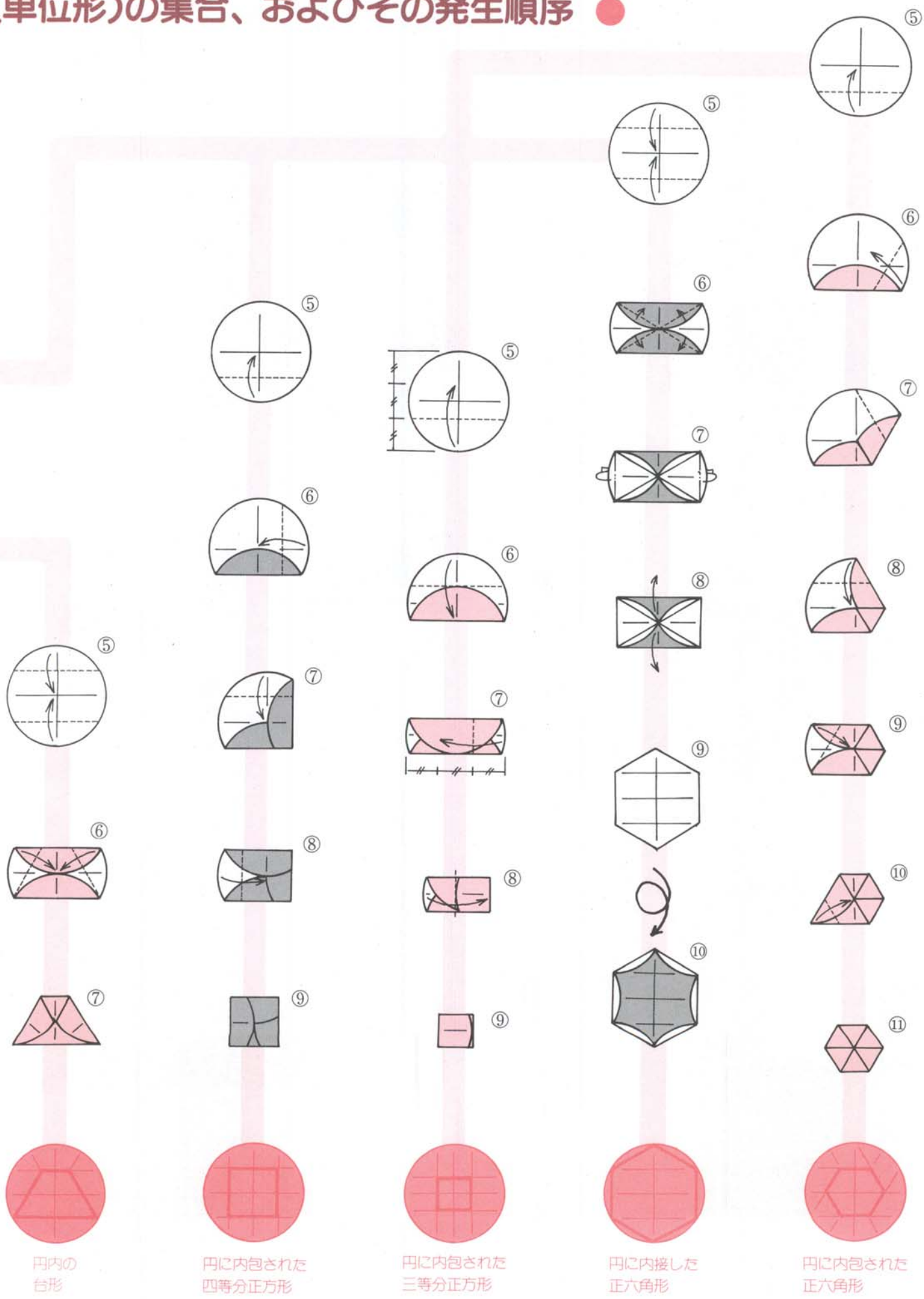


円に内接した長方形



円内の平行四辺形(ひし形)

(単位形)の集合、およびその発生順序 ●



円内の
台形

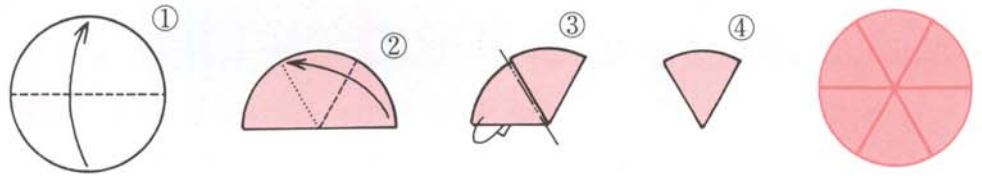
円に内包された
四等分正方形

円に内包された
三等分正方形

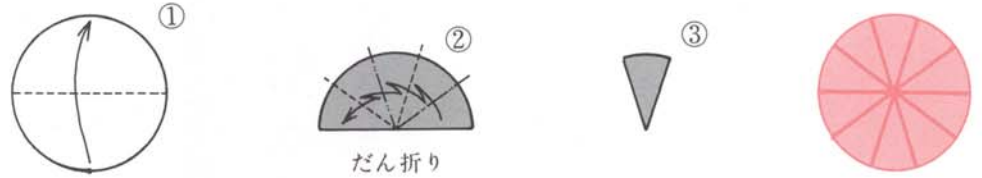
円に内接した
正六角形

円に内包された
正六角形

ルートB



ルートC



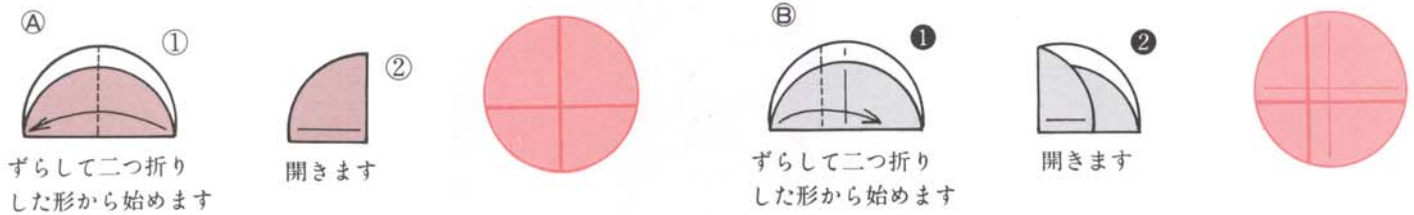
ルートD (円形から折った正方形の二等分と三等分)



二等分

三等分

ルートE (ずらし折り=中心点の移動)



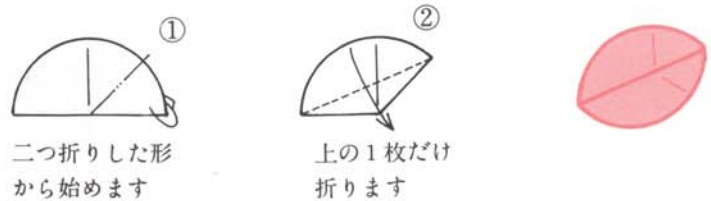
ずらして二つ折りした形から始めます

開きます

ずらして二つ折りした形から始めます

開きます

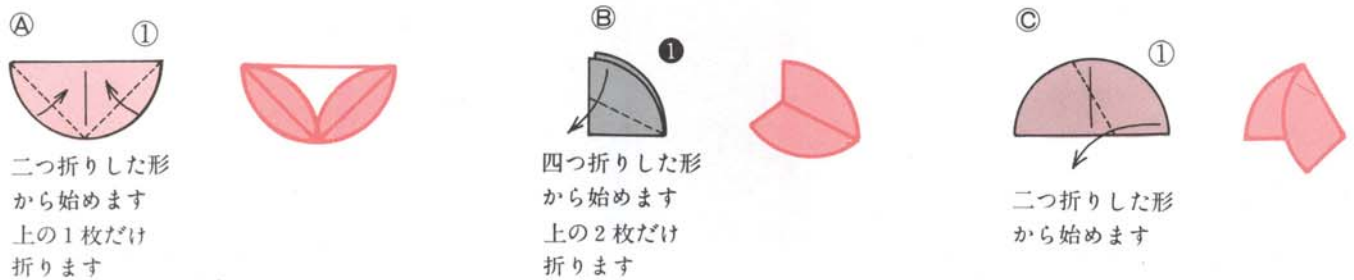
ルートF (だ円形)



二つ折りした形から始めます

上の1枚だけ折ります

ルートG (その他のユニット)



二つ折りした形から始めます
上の1枚だけ折ります

四つ折りした形から始めます
上の2枚だけ折ります

二つ折りした形から始めます

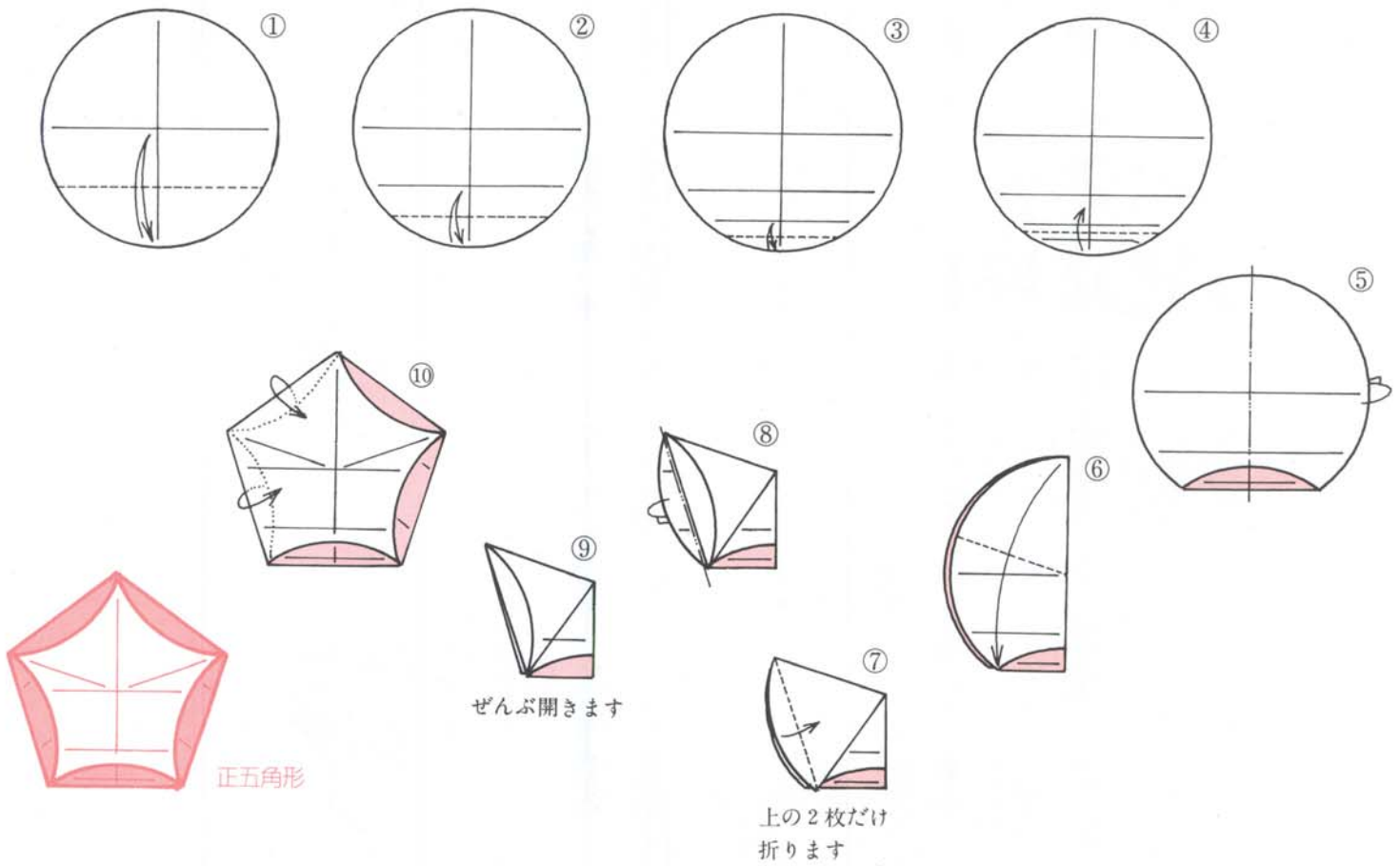
注(1)「円に内接した正方形」の中の四つの二等辺三角形の一つを折りこむと、「三角錐」ができます。同様に、五角形から四角錐、六角形から五角錐、七角形から六角錐ができます。



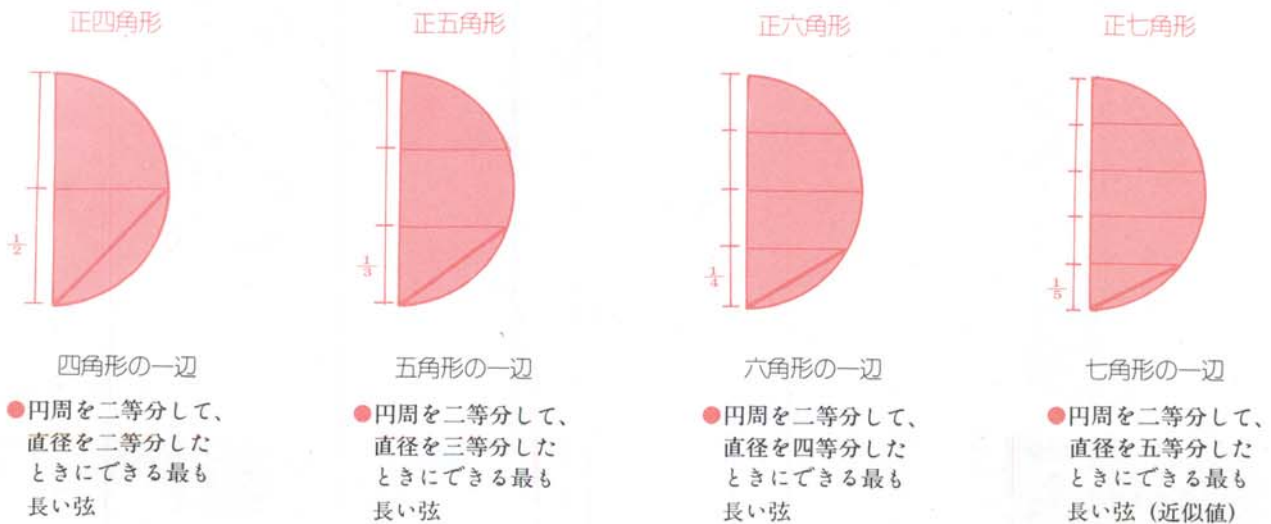
注(2)ここでご紹介した折り方の各過程でできる形のすべてが、ユニットとして利用できます。

注(3)ここでご紹介した「基本形とユニット」は、円周を等分する種類と直径を等分する種類とに大別できます。

ルートH (正五角形の折り方)



円理折り (円に内接した四、五、六、七角形を計算で割り出す折り紙)



今月号には、東洋紙工株式会社のご好意により「まるのおりがみ」を「だいらびな(おびな・めびな)」用のセットにしてご提供いただきました。

なお、「まるのおりがみ」をご希望の方は、NOA事務局までお申し込みください。詳細は右記です。

○トーヨーのたのしいプレゼント(丸折り紙セット)

1冊 150円(送料 240円)、2冊 300円(送料 240円)

3~5冊(送料 350円)、6~10冊(送料 小包1kg分)

○本誌の巻末にとじ込みの郵便振替用紙に、数量を明記の上、折り紙代金に送料を添えてご送金ください。

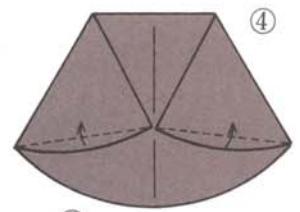
チャレンジコーナー

まるのおりがみ・幼児にできる だいらびな (内裏雛)

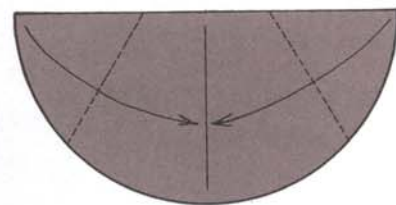
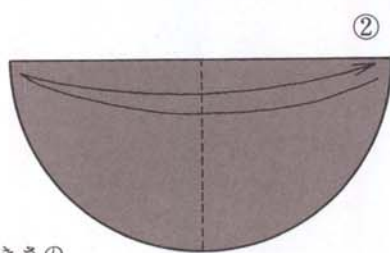
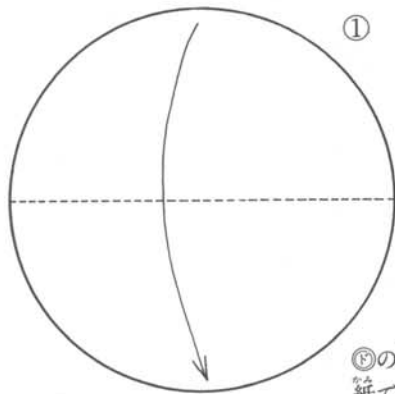
福田恵日

Dairi-bina by Enichi Fukuda

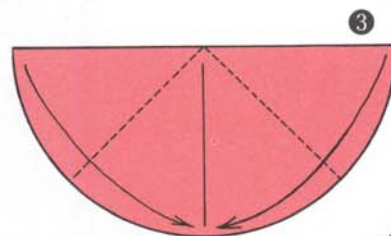
(注)おびなは◎○○○○○というリズムをもっています。
めびなは◎⑦⑦⑦⑦⑦というリズムをもっています。
三人官女は◎⑦⑦⑦というリズムをもっています。



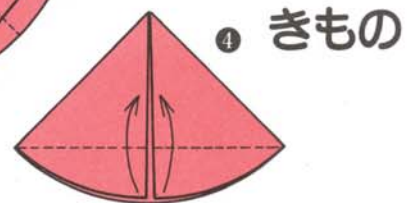
おびな Obina きもの



◎の大きさの紙でおります

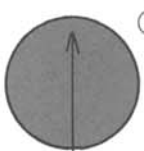


めびな Mebina きもの



きもの

かお

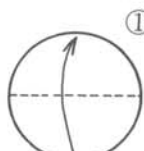


かんむり

おなじものを4まいつくります

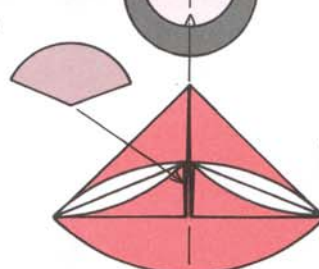


のりづけします

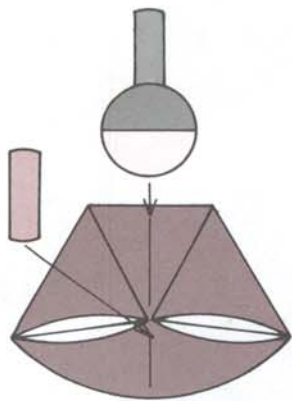


◎の大きさの紙でおります

おうぎ



のりづけします



のりづけします



①の大きさの紙でおります



しゃく



のりづけします

のりづけします



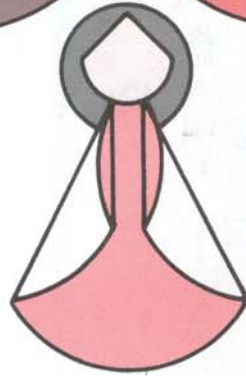
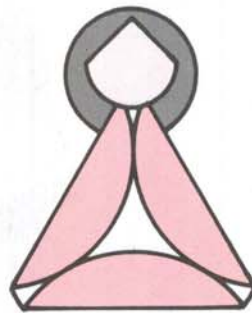
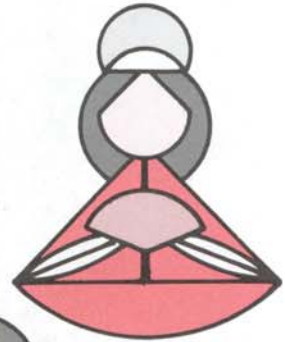
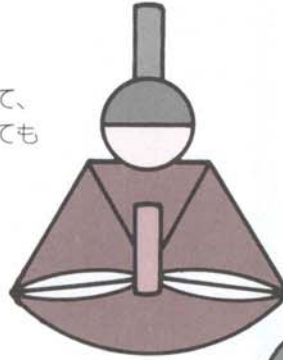
①の大きさの紙でおります



②の大きさの紙

かおと かんむり

できあがったら並べて、色紙やカードにはってもいいですね。

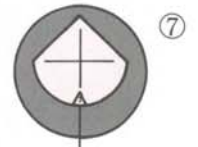
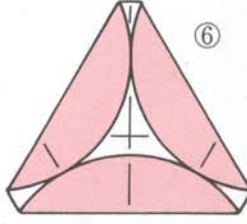
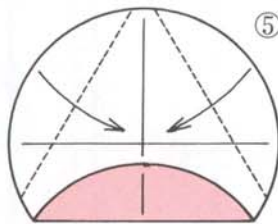
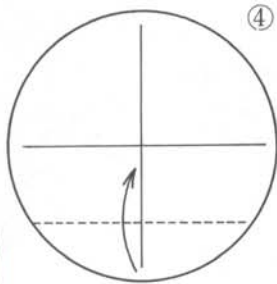
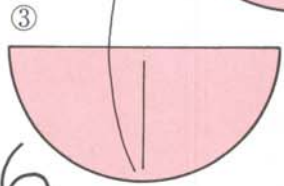
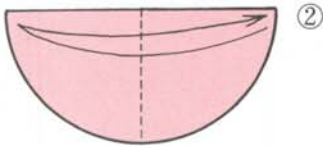
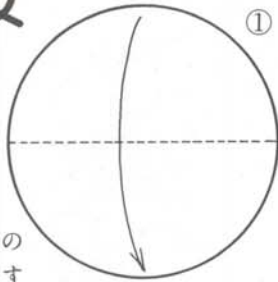


三人官女

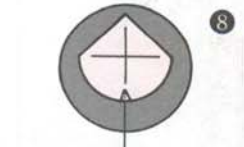
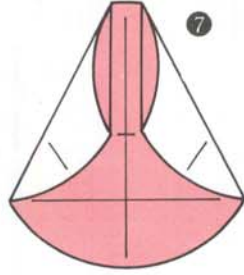
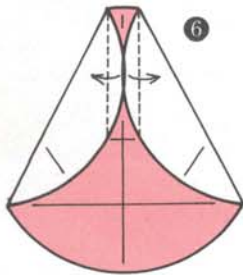
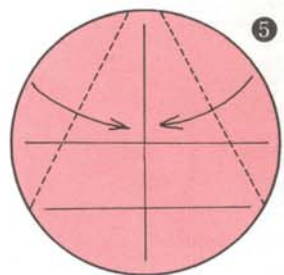
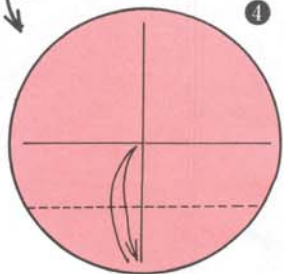
Sannin-Kanjo

きもの

①の大きさの紙でおります



おなじものを2まいつくります



のりづけします

のりづけします

この「おりがみギャラリー」は、折り紙ファンの皆さんに少しでも多くの作品をお楽しみいただこうと企画されたコーナーです。ここでご紹介する作品は、大作ばかりのため、作品すべての折り図掲載はしていません。どうぞ、目で見ると見る（鑑賞のためのコーナー）として、十分お楽しみください。

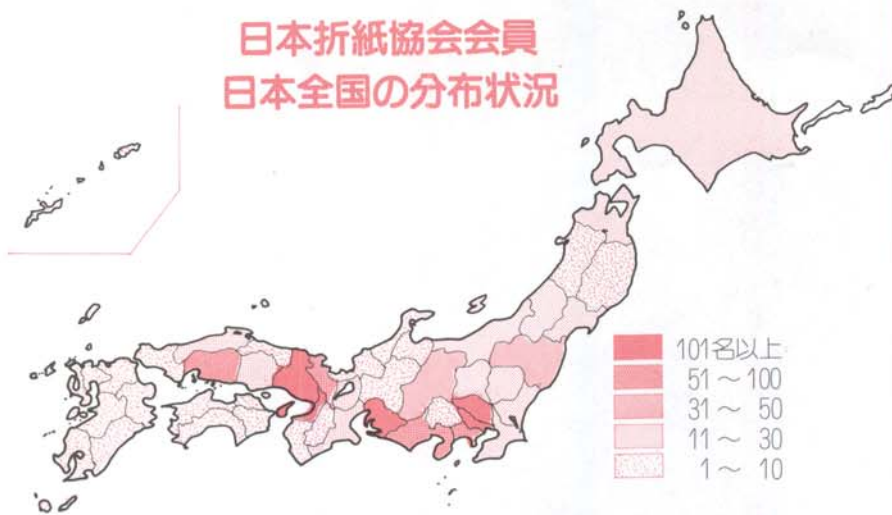
—編集部—



びなまつり



日本折紙協会会員 日本全国の分布状況



日本折紙協会(NOA)会員の皆さんの都道府県別分布図(昭和56年11月末現在)ができました。既会員の皆さんのご活躍や“国内巡回折紙展”、“第4回世界折紙展”など二つの折り紙展も源動力となって会員数が増加し、お蔭様で5都府県で100名を越すとともに、前年のような0名地区もなくなりました。ありがとうございます。特に、東京は300名を大阪は250名を突破し、大都市の貴祿を見せています。

また、この他に海外会員の増加も目ざましく、メキシコ支部の34名をはじめとして南米、ヨーロッパ、アジア、アフリカなど、世界各国にオリガミアの輪が広がっています。

今後とも力の限り活動を続けて行きます。皆様、どうぞよろしくご支援・ご指導くださいますようお願い申し上げます。

▶事務局からのお願い◀

会費をご納入いただいた際にお送りする領収書兼会員証に、“昭和●年▲月～昭和○年△月”と明示してあるのは、日本折紙協会役員としての期間を示すもので、お手元にお届けする雑誌の月号数とは一致していません。

たとえば、“昭和56年7月～昭和57年6月”の会員証をお持ちの方には56年8月号から翌年の7月号までをお送りする形になりますので、その点をお間違いなきようご承知おきください。

また、期限切れの期日は、その1か月前に葉書でお知らせ致します。ご継続いただく場合は、雑誌巻末にとじ込みの郵便振替用紙裏面に必要事項ご記入の上、会費をお払い込みくだされば結構です。なお、ご継続をお忘れになった場合でも、後日その旨をお書き添えの上お払い込みいただければ、さかのぼってのご継続のお取り扱いもさせていただきます。

写真——杉本広司・松原千恵子

デザイン・折り図——日本折紙協会

※本誌よりの無断転載を禁ず。©日本折紙協会

© 1982 Nippon Origami Association

今月号に作品などが掲載されている皆さんです

高浜利恵 (〒166)

東京都杉並区松ノ木3-24-1

半田丈直 (〒470-01)

愛知県愛知郡東郷町北山台1-6-17

田中具子 (〒661)

兵庫県尼崎市時友シモンデン230-2

サガ第5マンション206号

竹川青良 (〒631)

奈良県奈良市疋田町2-2-9

田中陽子 (〒400)

山梨県甲府市山宮町3000-14

石橋美奈子 (〒563)

大阪府池田市畑3-11-1

福田恵日 (〒190)

東京都立川市羽衣町2-27-9

ビットリオ・マリア・ブランドーニ

(Mr.) VITTORIO-MARIA BRANDONI

Brandoni Scuola di Origami Daitoryu

C.P. 1173

I 10100 TORINO-ITALY

おりがみ第8巻第3号 通巻79号

1982年3月1日

発行——日本折紙協会

発行人——佐野康博

編集人——松原千恵子

スタッフ——高尾京子・堀 祐子

住所——〒102 東京都千代田区五番町12番地

ドミール五番町 1-096

電話——03 (262) 4764 (代)

印刷——株式会社東京印書館

用紙——北越製紙株式会社

定価——500円 (送料 55円)

※乱丁・落丁のときはお取り替えいたします。

Publishing office——NIPPON ORIGAMI ASSOCIATION

Publisher——Yasuhiro Sano

Editor——Chieko Matsubara

Editorial staff——Kyoko Takao & Yuko Hori

Domicile——1-096-Domir Gobancho, 12 Gobancho, Chiyoda-ku, Tokyo 102, Japan

Phone——03-262-4764

Printer——Tokyo Inshokan Printing co.,Ltd.

Paper supplier——Hokuetsu Seishi Paper-manufacturing co.,Ltd.

Price——¥500

Copyright © 1982 by NIPPON ORIGAMI ASSOCIATION



新発売!!

雑誌

“おりがみ”専用
ファイル

定価 830円

送料 350円

お待たせしました、待望の雑誌“おりがみ”

専用ファイルができました。

雑誌“おりがみ”はいつまでもとっておきたい貴重な本です。その大切な本の長期保存と整理に大きな力となるファイルです。毎月一冊づつ増えていく楽しさを味わってください。



オリガミ&ブックサービス企画

おりがみ会館内 〒113 東京都文京区湯島 1-7-14 ☎03(811)4025

お申し込みは現金書留にて直接、オリガミ&ブックサービス企画までお願いします。

《おりがみ》 バックナンバーのお知らせ



	バックナンバー残部号数	特 集 内 容	定 価	
書籍小包扱い	1975年(昭和50年) 10月号通巻2号	ヒコーキ 犬 実用の折り紙(メモ立て、状差し)	定価500円	
	1976年(昭和51年) 6月号通巻5号 8月号通巻6号	兜 鳥 幼児の折り紙(指人形) 表紙に少々難有り 舟(古典から新作まで) コアラ 在庫僅少		
	1977年(昭和52年)	2月号通巻9号	ひな祭り パンダ カラーボックス	定価380円
		6月号通巻11号	ヒコーキ マジック折り紙	
		8月号通巻12号	海の仲間 セタ飾りとモビール 品切れ	
		10月号通巻13号	楽しいシヨツピング 秋	
	12月号通巻14号	クリスマス きせかえ人形 インテリア 品切れ近し		
	1978年(昭和53年)	2月号通巻15号	折り紙あそび ひな祭り	
		8月号通巻18号	かわいいペット(犬と猫) のりもの	
		10月号通巻19号	世界の建物 遊べる折り紙 昆虫 品切れ	
12月号通巻20号		パーティーをひらこう お正月を飾ろう 品切れ		
1979年(昭和54年) 2月号通巻21号	ひな祭り 節分 おままごと			
第三種郵便物扱い	8月号通巻47号 10月号通巻49号 12月号通巻51号	ノアちゃんの夏休み(海と山)	定価500円	
		おりがみ運動会 お月見		
		クリスマス(飾り) お正月(実用折り紙) 品切れ		
	1980年(昭和55年)	2月号通巻53号		冬の夜話(指人形) パレンタイン・デー
		6月号通巻57号		おりがみみこし くす玉 父の日
		7月号通巻58号		SF七夕祭り みんなで遊ぼう
		8月号通巻59号		夏休み工作集(モビールと暑中見舞い) おはけ屋敷
		9月号通巻60号		楽しい劇遊び(お面の工夫) 敬老の日のプレゼント
		10月号通巻61号		秋の壁面飾り 手品に使えるふしぎな折り紙
		11月号通巻62号		秋の野山へハイキング 動物
		12月号通巻63号		ふしぎの国のクリスマス
		1981年(昭和56年)		1月号通巻64号
	増刊号通巻65号			鳥(シヤモ・ちゃぼ・長尾鳥・鶉・火の鳥) モノクロ判
2月号通巻66号 3月号通巻67号 4月号通巻68号 5月号通巻69号 6月号通巻70号 7月号通巻71号 8月号通巻72号 9月号通巻73号 10月号通巻74号 11月号通巻75号 12月号通巻76号	冬の日のノアちゃん パレンタイン・デー 節分	定価400円		
	ひな祭り くす玉 品切れ近し			
	壁面飾り「春」 くす玉 品切れ近し	定価500円		
	子どもたちの作品その1 かぶと			
	のりもの 子供たちの作品その2 在庫僅少			
	夏の壁面飾り 宇宙旅行 付録:カラーホイール折紙			
	海の生物 恐竜 在庫僅少			
	たのしいどうぶつえん 多面体 在庫僅少			
	あそべるおりがみ 新干羽鶴			
	おままごと 戦車			
クリスマスの壁面づくり、カードとカざり				
1982年(昭和57年) 1月号通巻77号	お正月カざりと犬 ノアちゃんの「きもの」			

●送料(12月末日現在)

通巻2~21号(書籍小包扱)

1冊200円 2冊250円
3・4冊300円 5・6冊350円
7・8冊400円 9・10冊450円
11・12冊500円

通巻47~53号(第3種郵便扱)

1冊60円 2冊80円
3冊95円 4冊115円
5冊135円
6~15冊は書籍小包扱と同額です。

通巻57~72号(第3種郵便扱)

1冊55円 2冊70円
3冊90円 4冊105円
5冊120円 6冊130円
7・8冊350円 9~11冊400円
12~15冊450円
16~18冊500円

※上記以外の冊数の場合は、普通小包となりますのでご注意ください。12冊まで3kg、16冊まで4kg、21冊まで5kg、26冊まで6kg。

※郵便料金の値上げによる、送料の変更はご容赦ください。



●バックナンバーのお申し込み方法

巻末にとじ込みの郵便振替用紙に、ご入用の号数と冊数をご記入の上、誌代と送料を添えてご送金ください。当方に到着次第、雑誌をお送り致します。

●通巻ナンバーについて

通巻22号から45号に飛んでいるのは、発行元の移行による通巻計算の違いのため、欠番ではありません。尚、通巻1・3・4・7・8・10・12・16・17・19・20・22・45・51・55の各号(カラー版15種)と、46・48・50・54・56の各号(モノクロ版5種)は品切れとなりました。

れんじし
連獅子



和紙 折り紙

伝統美に新感覚を加えて。

トーヨー 折り紙



オワ-5024-1 ¥500 ㊥

トーヨー 折り紙



オワ-3018-1 ¥300 ㊥

トーヨー 折り紙



オワ-2015-1 ¥200 ㊥

トーヨー 折り紙



オワ-1515-1
¥150 ㊥

トーヨー 折り紙



オワ-1012
¥100 ㊥

和紙のもつあたたかさ、伝統美に現代的感覚をアレンジした、トーヨーの和紙折り紙は、和紙人形などにより、一層の効果が得られます。トーヨーでは、数々の新製品の開発に努力しております。今後も当社のおりがみ製品を、ご愛用ください。

東洋紙工株式会社

本社 〒120 東京都足立区柳原1-35-4
TEL 03-882-8161代
大阪営業所 〒581 大阪府八尾市新家町1-15-3
TEL 0729-97-8455
名古屋営業所 〒465 名古屋市名東区猪高町掃子石鈍ヶ谷4番地3
TEL 052-773-8551
札幌営業所 〒001 札幌市北区新琴似5条1-1-5
TEL 011-731-2685

日本折紙協会発行 定価五〇〇円